

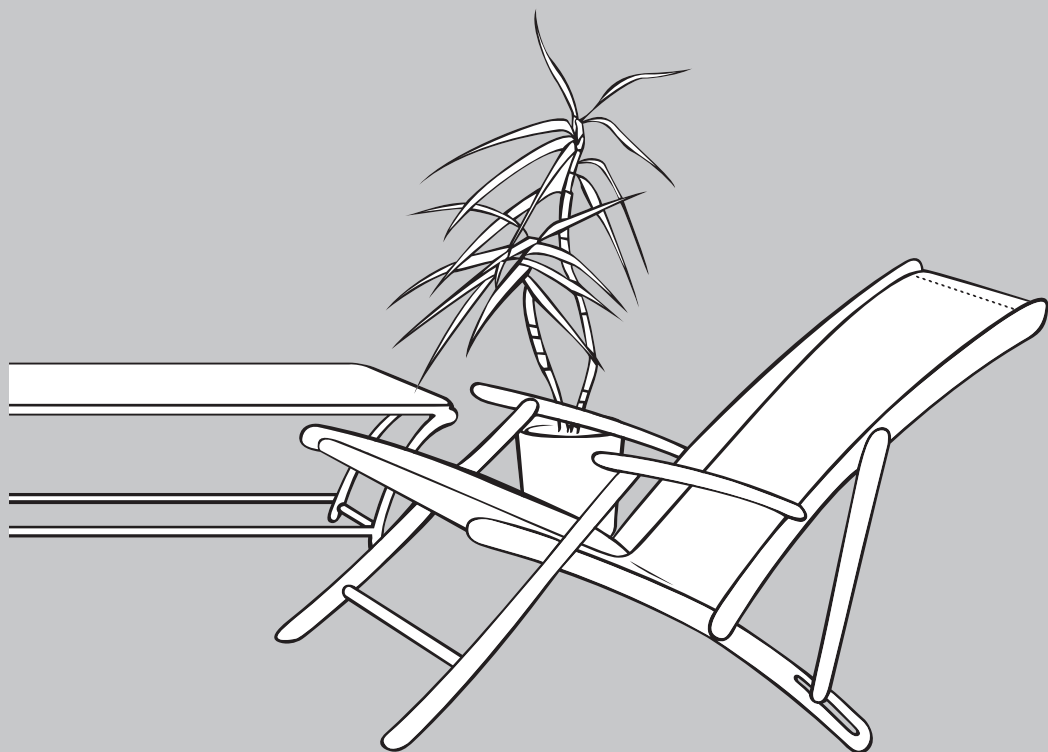
KENWOOD

コンパクトハイファイコンポーネントシステム

UD-A77

取扱説明書(操作編)

先に反対の「お使いになる前に編」をお読みください。



●メモ리카ードスロット搭載

パソコンを使用しなくても、簡単操作でメモ리카ードへ録音できます。大容量のメモ리카ードを用意すれば、たくさんのCDなどをどんどん録音でき、お部屋もすっきり。入れ替える必要もないので手間なく音楽を楽しめます。

●ケンウッド製 デジタルオーディオプレーヤーと連動

ケンウッドのデジタルオーディオプレーヤーを接続※すれば本機のリモコンで操作が思いのままに行えます。デジタルオーディオプレーヤーの曲をより良い音で楽しめるほか、簡単操作で録音も可能。家でも外出先でも楽しみ方が広がります。

圧縮された音楽も高音質に再生する

●SUPREME機能

MP3やWMAの圧縮によって失われた高音域を推測、補間することで限りなく原音に近いリアルなサウンドを甦らせる、ケンウッド独自の技術です。圧縮された音楽もワンランク上の音質で。

●7バンドイコライザー搭載

本格的な7バンドイコライザーで、重低音域から超高音域までの音質を調整できます。ジャンルやお好みに合わせて調整した設定は3種類まで登録できます。

その他の便利な機能

- ワンタッチエディット録音
- おやすみタイマー
- TWIN REC
- タイマー録音、再生
- グループ機能
- MDロングプレイモード対応

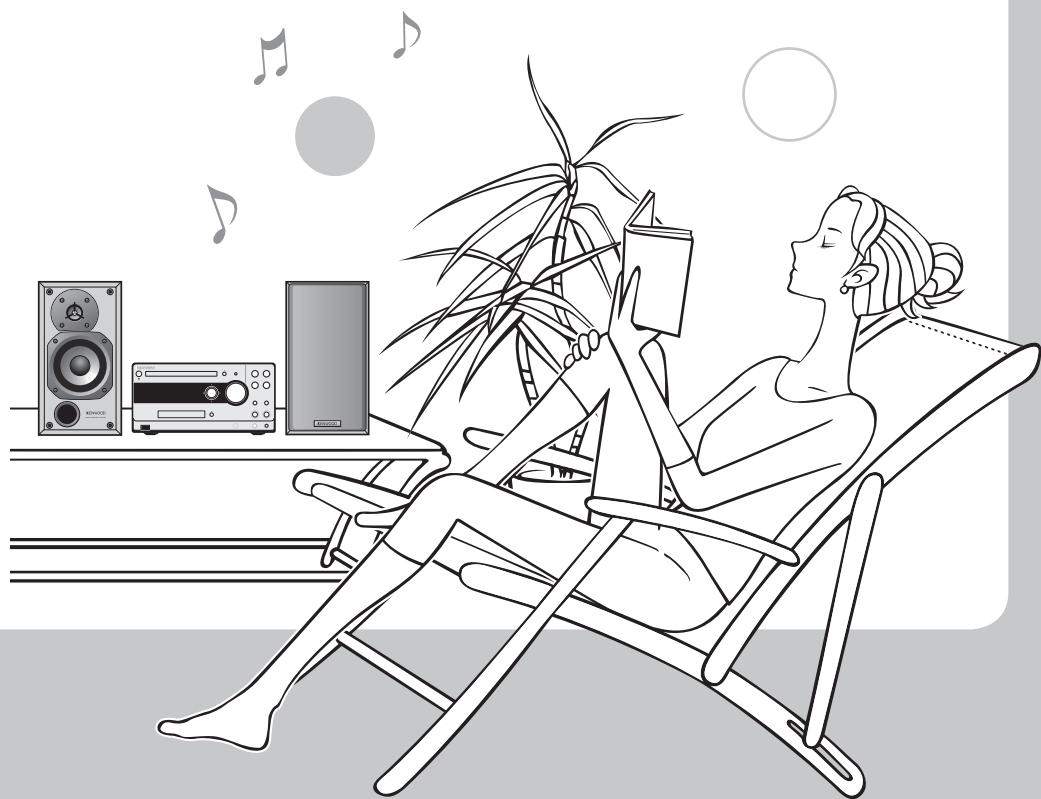
※D-AUDIO IN端子への接続には専用ケーブル PNC-150が必要です。

パソコンいらずで簡単、快適！

すぐに始まる、楽しみ方広がる

コンパクトハイファイ
コンポーネントシステム

UD-A77



こんなことができます

もくじ (操作編)

USBオーディオプレーヤー
を使って



メモ리카ードで



聞く

本機/リモコンで操作が可能	
曲を聞く……………	6
繰り返し聞く (リピート再生)……………	13
お好みの音質で聞く……………	20

録り貯めた曲を楽しむ	
曲を聞く……………	7
繰り返し聞く (リピート再生)……………	13
イントロで曲を探す (イントロスキャン)……………	18
お好みの音質で聞く……………	20

録音する

録音も簡単操作でOK	
CDの曲を録音する (全曲、1曲、好きな曲) ……	28
メモ리카ードから USBオーディオプレーヤーへ 転送する……………	36

どんどん録り貯めて楽しめる	
CDの曲を録音する (全曲、1曲、好きな曲) ……	30
TWIN RECで同時に録音する ……	34
MDの曲を録音する……………	38
ケンウッド製デジタルオーディオ プレーヤーの曲を録音する ……	38
ラジオ (FMまたはAM) を録音する ……	42
外部入力 (AUX) から録音する ……	42

編集する

編集も思いのまま	
曲を消す……………	46
文字入力のしかた……………	56
名前の変更……………	58

簡単編集機能	
曲を消す……………	46
文字入力のしかた……………	56
名前の変更……………	58

もっと使いこなす

外部機器の入力レベルを調整する ……	66
おやすみタイマーを設定する ……	67
タイマーを使う……………	68
TOOLからワンタッチ エディット録音する……………	74
USBオーディオプレーヤーまたは メモ리카ード内のフォルダ数、 曲ファイル数を確認する ……	77
リフレッシュ機能で フォルダを整理する ……	78
曲をもっと録り貯めるには ……	79
ディスプレイ表示切り換え ……	80

録音設定をする

録音モードを設定する……………	82
録音スピードを設定する……………	84
録音入力を設定する……………	84
録音レベルを調整する……………	85
トラックマークの 付け方を設定する……………	86
トラックマークの間隔を 設定する……………	87
グループ登録するか設定する……………	88
録音時に曲名などを コピーするか設定する……………	89

先に反対の「お使いになる前に編」をお読みください。

困ったときは

メッセージ表示一覧	98
故障かな？と思ったら	100
用語集	105

CDで



いつものCDも聞き方を変えて	
曲を聞く	8
順不同に聞く (ランダム再生)	12
繰り返し聞く (リピート再生)	13
好きな曲を好きな順序で聞く (プログラム再生)	14
好みの音質で聞く	20

MDで



MDも楽しめる	
曲を聞く	9
順不同に聞く (ランダム再生)	12
繰り返し聞く (リピート再生)	13
好きな曲を好きな順序で聞く (プログラム再生)	14
グループ再生する	16
好みの音質で聞く	20

ラジオで 外部入力で

外部機器の曲を聞く (AUX接続)	10
ケンウッド製 デジタルオーディオ プレーヤーの曲を聞く	11
好みの音質で聞く	20
ラジオを聞く	22
放送局を記憶させる	24

TWIN RECほか、多彩な録音

CDの曲を録音する (全曲、1曲、好きな曲)	32
TWIN RECで同時に録音する	34
メモ리카ードの曲を録音する	40
ケンウッド製デジタルオーディオ プレーヤーの曲を録音する	40
ラジオ (FMまたはAM) を録音する	44
外部入力 (AUX) から録音する	44

充実の編集機能

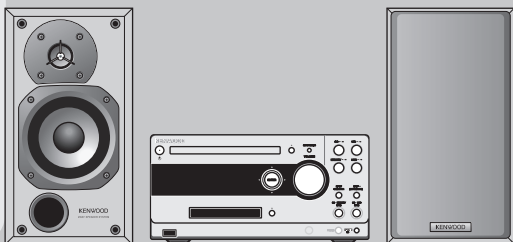
曲を消す	48
曲を移動する (MOVE)	50
曲をつなげる (COMBINE)	52
曲を分ける (DIVIDE)	54
文字入力のしかた	56
名前の変更	60
グループを編集する	62
編集した内容を取り消す	65

音質の 設定を する

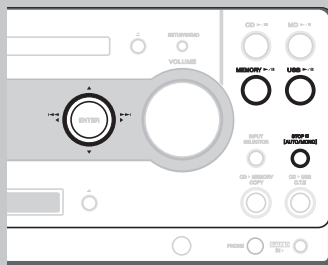
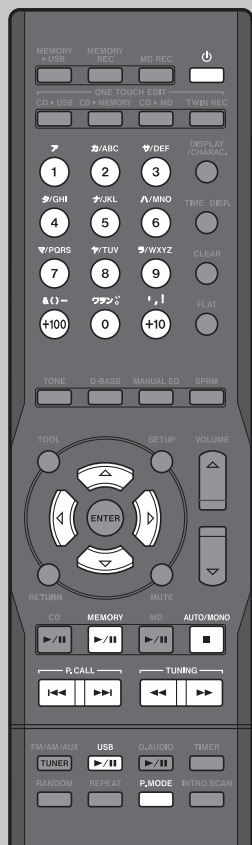
低音を強調する	90
低音と高音を調整する	91
好みの音質を登録する	92
より原音に近い音で楽しむ	93
スピーカーの左右バランスを変更する	93

本機の 設定を する

ディスプレイの明るさを調整する	94
メモ리카ード内のすべての データを消去する	95
オートパワーセーブ機能を設定する	96
時計を合わせる	97



曲を聞く



USBオーディオプレーヤーの曲を聞く



1 再生する



※曲ファイルのファイル名が表示されます。カナ、英数字にのみ対応しています。それ以外の文字は「*」と表示されます。



※再生できるデータ形式については、「お使いになる前に編」21ページ参照。

■ 曲を選ぶ場合は



フォルダまたは曲ファイルを選ぶ。

※選び方は「お使いになる前に編」24ページ参照。



■ 再生モードを選ぶ場合は



押すごとに切り換わります。



フォルダ再生モード
(選択したフォルダ内の曲
ファイルを再生します)



全曲再生モード
(USBオーディオプレーヤー内の全曲ファイルを再生します)

■ 停止するには



もう一度押すと再開します。



もう一度押すと再開します。

メモ리카ードの曲を聞く

1 再生する



※曲ファイルのファイル名が表示されます。カナ、英数字にのみ対応しています。それ以外の文字は「*」と表示されます。



※再生できるデータ形式については、「お使いになる前に編」21ページ参照。

■ 曲を選ぶ場合は



フォルダまたは曲ファイルを選ぶ。

※選び方は「お使いになる前に編」24ページ参照。

■ 再生モードを選ぶ場合は



押すごとに切り換わります。



フォルダ再生モード
(選択したフォルダ内の曲ファイルを再生します)

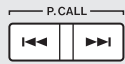
全曲再生モード
(メモ리카ード内の全曲ファイルを再生します)



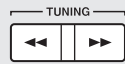
USBオーディオプレーヤーまたはメモ리카ードに曲ファイルが入っている場合は、USB (▶/II) または MEMORY (▶/II) を押すだけで本機の電源がONになり、再生が始まります。

再生中に他の音源に切り換えた場合は、再度MEMORY (▶/II) またはUSB (▶/II) を押すと切り換える前に再生していた所から再生を再開します。

■ 曲を飛ばすには



■ 早送り/早戻しするには



再生中に押し続けます。



再生中に倒し続けます。

■ 好きな曲から聞くには (リモコンのみ)



F023なら (+10) × 2回、 (3)

F102なら (+100)、 (2)


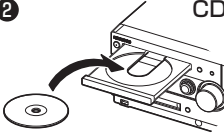


曲を聞く






CDの曲を聞く





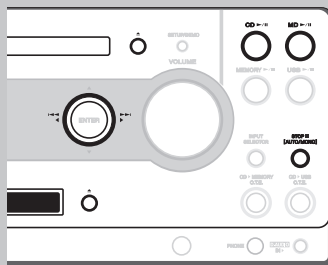
1 CDを入れる

- 1  トレイを開きます。
- 2  CDを入れます。
- 3  トレイを閉じます。
※CDを入れると  が点灯します。

2 再生する

-  CD ※CD-TEXT対応のディスクの場合、曲名やアルバム名などの文字情報が表示されます。タイトルが長い場合はスクロール表示されます。英数字にのみ対応しています。それ以外の文字はスペースになります。
-  CD ▶/||  ※再生できるディスクについては「お使いになる前に編」22ページ参照。

Hint  あらかじめディスクが入っている場合は、CD  を押すだけで本機の電源がONになり、再生が始まります。



- 停止するには
 -  AUTO/MONO 
 -  CD   MD 

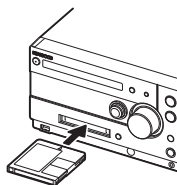
もう一度押すと再開します。
- 一時停止するには
 -  STOP  [AUTO/MONO]
 -  CD ▶/||   MD ▶/|| 

もう一度押すと再開します。

MDの曲を聞く



1 MDを入れる



MDを入れます。

※MDを入れるとMDが点灯します。

※MDにディスクタイトルが入っているときは、ディスクタイトルが表示されます。

2 再生する



MD

※トラックタイトルが入っているときは、再生中の曲のタイトルが表示されます。



MD ▶/||



あらかじめディスクが入っている場合は、MD▶/||を押すだけで本機の電源がONになり、再生が始まります。

MDの曲は、録音したときの録音モードに従って再生されます。録音モードについては83ページ参照。

■ 曲を飛ばすには



■ 早送り/早戻しするには



再生中に押し続けます。

■ 好きな曲から聞くには (リモコンのみ)

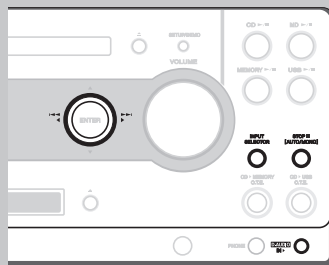
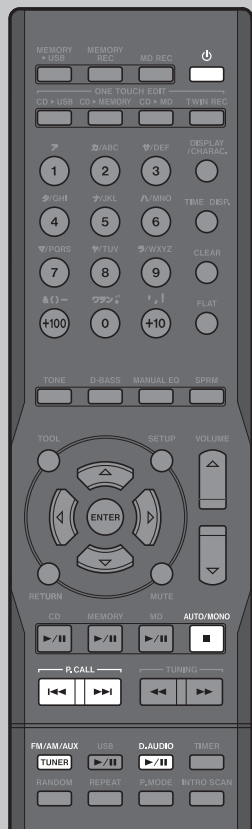


23曲目なら (+10) × 2回、 (3)

102曲目なら (+100)、 (2)

外部機器の曲を聞く (AUX接続)

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を聞く



外部機器の曲を聞く (AUX接続)




1 接続する


※接続するときは、本機の電源は必ずOFFにして接続してください。(「お使いになる前に編」14ページ参照)

※接続する外部機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

2 AUX (外部入力) に切り換える

 FM/AM/AUX TUNER 押すごとに切り換わります。



 INPUT SELECTOR 押すごとに切り換わります。



3 再生する

接続した外部機器を再生します。

※同じボリュームでも外部機器の音が、その他の音源より大きく、または小さく感じた場合は入力レベルを調整してください。(66ページ参照)



リモコンのFM/AM/AUX (TUNER) キーを押すだけで本機の電源がONになります。

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーその他の操作方法

※専用ケーブル PNC-150 で接続している場合のみ行えます。

■ 停止するには

 AUTO/MONO 

 STOP  [AUTO/MONO]

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を聞く



聞
く

外部機器の曲を聞く(AUX接続)
ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を聞く

1 D.AUDIO IN端子に接続する

※別売の専用ケーブル PNC-150を使って接続すると、本機やリモコンでケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの操作が行えます。

※接続するときは、本機の電源は必ずOFFにして接続してください。(「お使いになる前に編」14ページ参照)

※接続する外部機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

再生可能なケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー

HDDオーディオプレーヤー	メモリアーディオプレーヤー
HD20GA7 HD30GA9 HD30GB9	M1GB5/M512B5 M2GC7/M1GC7 M512C5

2006年9月現在

2 ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの電源を入れる

3 再生する



D.AUDIO
▶/||

音源が切り換わり再生が始まります。



INPUT SELECTOR
○

押すごとに切り換わります。

※専用ケーブル PNC-150以外のケーブルで接続している場合は、接続したケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー側で操作します。



リモコンのD.AUDIO(▶/||)キーを押すだけで本機の電源がONになります。

本機へ接続している間はケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの音量、音質設定が無効になります。

■ 一時停止するには



D.AUDIO
▶/||

もう一度押すと再開します。

■ 曲を飛ばすには



P. CALL
◀◀ ▶▶



◀◀ ENTER ▶▶

■ 早送り/早戻しするには



P. CALL
◀◀ ▶▶

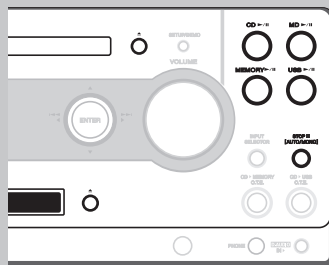
再生中に押し続けます。



◀◀ ENTER ▶▶

再生中に倒し続けます。

順不同に聞く (ランダム再生) 繰り返し聞く (リピート再生)



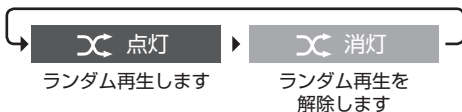
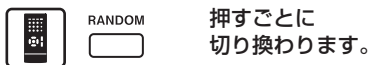
ランダム再生



1 音源を切り換える



2 ランダム再生する



■ ランダム再生モードを解除するには



※STOPキーを押しても、ランダム再生モードを解除できません。STOPキーで解除した場合は再生も停止します。

Hint ランダム再生中にREPEATキーを押すと、ランダム再生がひと通り終わってから、先ほどとは違う順番でランダム再生が始まります。

ランダム再生中は、再生済みの曲へ飛ばすことはできません。

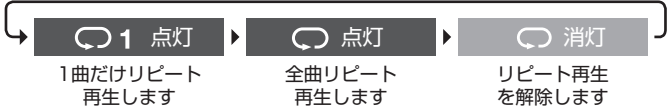
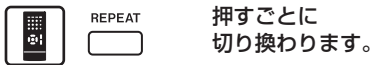
リピート再生

USB MEMORY CD MD

1 音源を切り換える



2 リピート再生する



※プログラム再生中は選べません。

■ リピート再生モードを解除するには

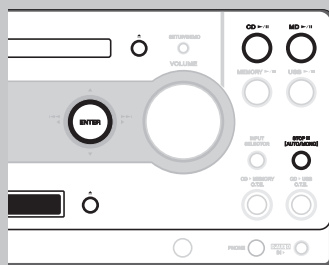
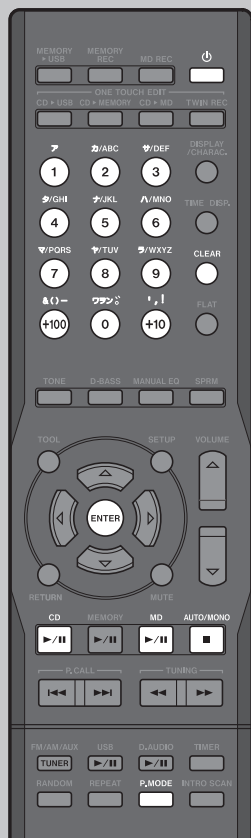


プログラム再生中にREPEATキーを押すと選んだ曲を繰り返し再生します。グループ再生中にREPEATキーを押すと選んでいるグループの曲を繰り返し再生します。グループについては62ページ参照。フォルダ再生モード中にREPEATキーを押すと選んでいるフォルダの曲ファイルを繰り返し再生します。(6ページ参照)

好きな曲を好きな順序で聞く (プログラム再生)



CDまたは
MDの場合



1 音源を切り換える



2 再生を停止する



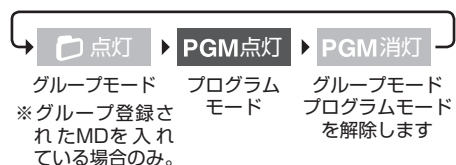
3 プログラムモードを選ぶ



CDの場合



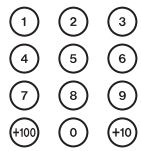
MDの場合



■ 曲を後から追加するには

再生している場合は停止してから
手順4の操作を行います。

4 聞きたい曲を選ぶ



曲を選ぶ。

※ 曲を選んでから20秒以内に
ENTERキーを押してください。

※ 入力を間違えた場合は、
CLEARキーを押してから
もう一度入力してください。



確定する。



例) CDの4曲目をプログラムの
1曲目に選んだ場合。

5 2曲以上選ぶときは手順4を繰り返す

※ 32曲まで曲を選ぶことができます。さらに曲を
選ばうとすると [PGM FULL] が表示されます。

6 再生する



電源をOFFにしたり、プログラム再生を設定したディスクを
取り出すと設定したプログラム内容は消えます。

■ プログラムした曲を取り消すには



再生を停止し、
その後CLEARキー
を押します。

※ 押すごとに、プロ
グラムした最後の
曲から1曲ずつ消え
ていきます。

■ プログラムモードを解除するには



再生を停止し、その後
P.MODEキーを押して
PGMを消灯させます。

グループ再生する



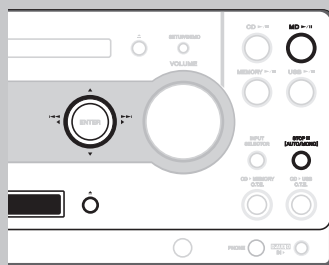
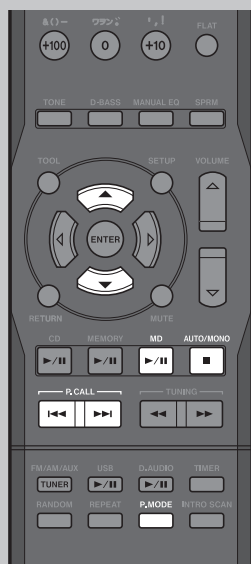
MDのみ

聞きたいグループの先頭の曲に簡単にスキップし、選んだグループの曲だけを再生します。

※グループ機能に対応した他のMD機器でグループ登録、編集されたMDを本機で使用すると、正しく動作しないことがあります。

準備

あらかじめグループ登録されたMDを入れてください。(62ページ参照)



1 音源をMDに切り換える



2 再生を停止する



3 グループモードを選ぶ



押すごとに切り換わります。



グループモード プログラムモード グループモード
※グループ登録されたMDを入れている場合のみ。 プログラムモードを解除します

■ グループモードを解除するには



再生を停止し、その後P.MODEキーを押してP.MODEを消灯させます。

4 聞きたいグループを選ぶ



MD T001-T003
GROUP01

例) 1曲目から3曲目までを
グループに設定した
グループ1を選択した場合。

5 再生する



選んだグループの最小
トラックナンバーの曲
から再生されます。



グループ再生中にRANDOMキーを押すと、選んでいる
グループの曲を順不同に再生します。(12ページ参照)

グループ再生中にREPEATキーを押すと、選んでいる
グループの曲を繰り返し再生します。(13ページ参照)

■ 曲を飛ばすには

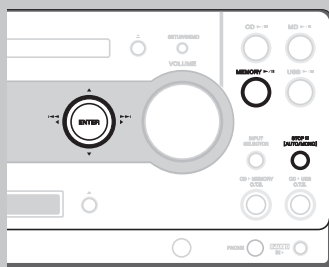
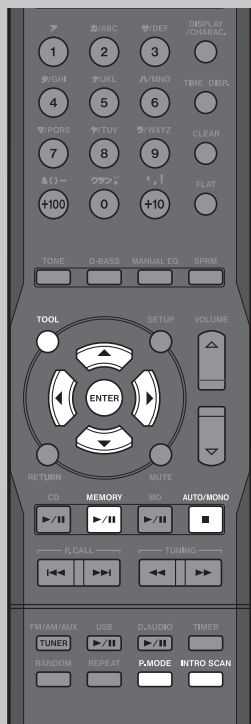


イントロで曲を探す(イントロスキャン)



メモ리카ードのみ

曲ファイルを頭から10秒間次々に再生します。メモ리카ードの中から探したい曲ファイルを見つけるのに便利な機能です。



1 音源をメモ리카ードに切り換える



2 再生モードを選ぶ



フォルダ再生モード
(選択したフォルダ内の曲ファイルをイントロスキャンします)

全曲再生モード
(メモ리카ード内の全曲ファイルをイントロスキャンします)

※全曲再生モードの場合は手順4へ。

3 フォルダを選ぶ



※選び方は「お使いになる前に編」24ページ参照。

■途中でやめるには



※再生も停止します。

※すべての曲ファイルのイントロスキャンが終了した場合も自動で停止します。



4 イントロスキャンを始める



INTRO SCAN



選択したフォルダの最初の
曲ファイルからそれぞれ
10秒ずつ再生されます。

5 探していた曲が見つかったら



通常再生に切り
換わります。



探していた曲ファイルの編集や転送はイントロスキャン中でも可能です。編集したい場合はTOOLキーを、転送したい場合はMEMORY▶USBキーをそれぞれイントロスキャン中に押してください。編集、転送中はイントロスキャンが一時停止しますが、編集、転送後は次の曲からイントロスキャンが再開します。

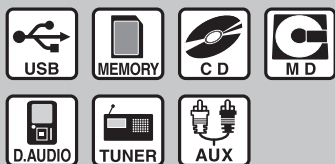
■ TOOLからイントロスキャンをするには



TOOL

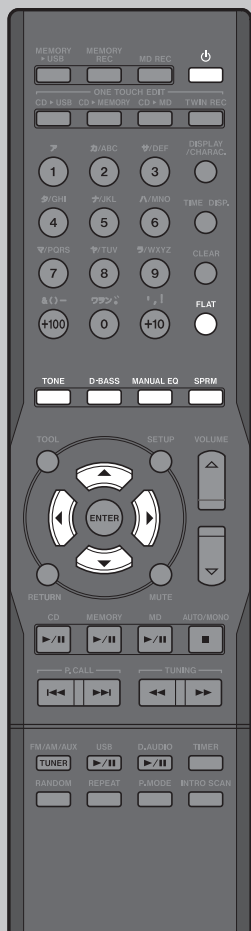
TITLE INPUT
◦INTRO SCANINTRO SCAN
SCAN START

お好みの音質で聞く



音源によっては効果が分かりにくいことがあります。

SOUND SETUPで調整した音質のON/OFFを切り換われます。(90～93ページ参照)



低音を強調する (D-BASS)



押すごとにON/OFFが切り換わります。

※ONにすると**D-BASS**が点灯します。

■ レベルを調整するには



1～10の範囲で1ずつ調整できます。

※SOUND SETUPからも調整できます。(90ページ参照)

より原音に近い音で楽しむ (SUPREME)

USBオーディオプレーヤー、メモ리카ードのみ。



押すごとにON/OFFが切り換わります。

※ONにすると**SPRM**が点灯します。

※SOUND SETUPからも調整できます。(93ページ参照)

■ SUPREME (サブリーム) とは

オーディオデータの圧縮によって失われた高音域の周波数を推測し、補間することで、リアルなサウンドを甦らせるケンウッド独自の音質向上技術です。

低音と高音を強調する (TONE)



TONE



押すごとにON/OFFが切り換わります。

※ONにすると **TONE** が点灯します。
レベルが0の場合は点灯しません。

■ レベルを調整するには



高音または低音
を選んで



TONE ON
BASS +4

TONE ON
TREBLE +4

調整する



+8 ~ -8の範囲
で2ずつ調整
できます。

+8 ~ -8の範囲
で2ずつ調整
できます。

※SOUND SETUPからも調整できます。(91ページ参照)

お好みの音質に切り換える (MANUAL EQ)

本機搭載の本格的な7バンドのイコライザーで、重低音域から超高音域まで調整して、お好みの音質になるような音域のカーブを作ることができ、3種類 (USER 1 ~ 3) まで登録できます。



MANUAL EQ



押すごとに切り換わります。

※ONにすると **EQ** が点灯します。
レベルが0の場合は点灯しません。



※あらかじめUSER1 ~ 3の設定を登録しておく必要があります。(92ページ参照)

D-BASS、TONE、MANUAL EQの設定を一時的に無効にする (FLAT)



FLAT



押すごとにFLATと設定済みのもとの
音質が切り換わります。

※ONにすると **D-BASS、TONE、EQ**
が点灯していれば消灯します。



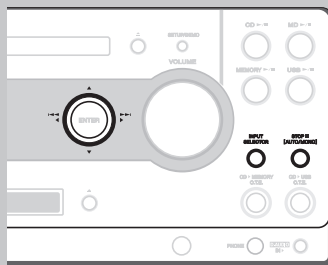
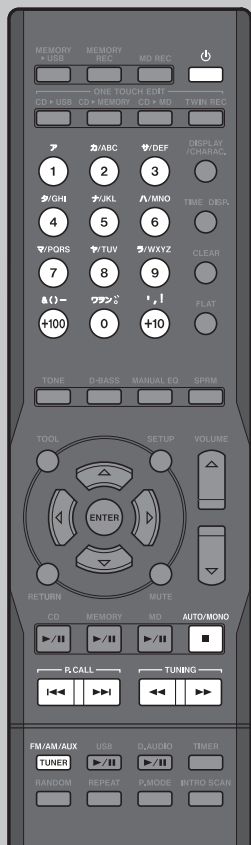
ディスプレイは各音質のON/OFFを切り換えた5秒後、レベル調整を行った20秒後にもとの表示に戻ります。

選択などの操作は本体でも行うことができます。

ラジオを聞く



ラジオのみ

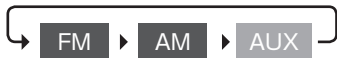


1 FMまたはAMに切り換える



FM/AM/AUX
TUNER

押すごとに
切り換わります。



INPUT
SELECTOR

押すごとに
切り換わります。



2 放送局を選ぶ

記憶させてある放送局から選ぶ場合 (プリセットコール)



例) プリセット番号P03を
選択している場合。

記憶させてある放送局を、
プリセット番号 (P01 ~
P40) から選びます。

※放送局を記憶させる場合 (オー
トプリセット/マニュアルプリ
セット) は24、26ページ参照。



※押したままにすると、放送局を
早く切り換えることができます。

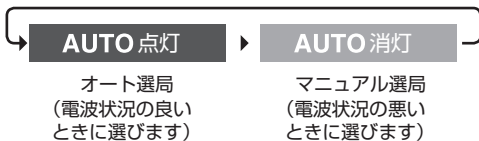
■ 数字キーで放送局 (プリセット番号) を選ぶには



- | | | | | |
|------|---|-----|-------|--------------|
| 1 | 2 | 3 | P13なら | (+10)、3 |
| 4 | 5 | 6 | P32なら | (+10) × 3回、2 |
| 7 | 8 | 9 | | |
| +100 | 0 | +10 | | |

記憶させていない放送局を選ぶ場合（オート選局またはマニュアル選局）

- ①   オート選局するか、マニュアル選局するかを選びます。
※押すごとに切り換わります。



- ②  



放送局を選びます。

■ オート選局の場合は

押すごとに次の放送局を自動で受信します。お好みの放送局を受信するまで操作を繰り返してください。

■ マニュアル選局の場合は

受信するまで、または受信したい周波数になるまで押してください。押し続けると周波数が早送りになります。



リモコンのFM/AM/AUX (TUNER) キーを押すだけで本機の電源がONになります。

オート選局/マニュアル選局中は音が出ません。

オート選局はステレオ受信、マニュアル選局はモノラル受信になります。

受信すると **TUNED** が点灯します。ステレオ受信の場合は **STEREO** が点灯します。

放送局を記憶させる



ラジオのみ

準備

FMまたはAMに切り換えてください。

※他の音源が選ばれていると、放送局を記憶させることができません。

※放送局はFM、AM合わせて最大40局まで記憶させることができます。

※放送局名は「放送局名自動表示リスト」に載っている放送局のみに対応しています。

※ケーブルテレビなどのアンテナを本機に接続した場合は、放送局が正しく表示されない場合があります。



放送局を自動で記憶させる（オートプリセット）

1 TOOLキーを押し [AUTO PRESET] を選び決定する



2 お住まいの都道府県名を選ぶ



ケンメイセツテイ
トウキョウ

※都道府県名はアイウエオ順に並んでいます。

※お住まいの都道府県が変わった場合はもう一度記憶させてください。

3 放送局を記憶させる



※ディスプレイに [AUTO PRESET] が点滅して放送局が記憶されます。記憶後はプリセット番号P01を受信した状態になります。

※すでに記憶されている周波数も書き換えることができます。

■ 希望の放送局名が表示されない場合は



地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されない場合は、リモコンのP.MODEキーを押すことにより別の放送局名に切り換えることができます。

放送局名自動表示リスト

※放送局名は変更されることがあります。

都道府県名	放送局	表示名	都道府県名	放送局	表示名
	NHK-FM	NHK-FM	島根県	(株)エフエム山陰	fm-sanin
愛知県	(株)エフエム愛知	FM AICHI	千葉県	(株)ベイエフエム	bayfm
愛知県	(株)ZIP-FM	ZIP-FM	東京都	(株)J-WAVE	J-WAVE
愛知県	愛知国際放送(株)	RADIO-i	東京都	(株)エフエム東京	TOKYO FM
青森県	(株)エフエム青森	FMアオイ	徳島県	(株)エフエム徳島	FMトクマ
秋田県	(株)エフエム秋田	FMアキタ	栃木県	(株)エフエム栃木	RADIO BERRY
石川県	(株)エフエム石川	FM ISHIKAWA	富山県	富山エフエム放送(株)	FMトヤマ
岩手県	(株)エフエム岩手	FM IWATE	富山県	北日本放送(株)	KNBラジオ
愛媛県	(株)エフエム愛媛	FMエヒメ	長崎県	(株)エフエム長崎	Smile-FM
大分県	(株)エフエム大分	FM OITA	長野県	長野エフエム放送(株)	FM NAGANO
大阪府	(株)FM802	FM802	新潟県	(株)エフエムラジオ新潟	FM-NIIGATA
大阪府	(株)エフエム大阪	fm osaka	新潟県	新潟県民エフエム放送(株)	FM PORT
大阪府	関西インターメディア(株)	FM CO・CO・LO	兵庫県	(株)Kiss-FM KOBE	Kiss-FM
岡山県	岡山エフエム放送(株)	FMオカヤマ	広島県	広島エフエム放送(株)	ヒロシマFM
沖縄県	AFN沖縄	AFNオキナワ	福井県	福井エフエム放送(株)	FMFUKUI
沖縄県	(株)エフエム沖縄	FM Okinawa	福岡県	(株)エフエム九州	CROSS FM
	NHK第一	NHKラジオ1	福岡県	(株)エフエム福岡	fm fukuoka
香川県	(株)エフエム香川	Fm FMカカワ	福岡県	(株)九州国際エフエム	Love FM
鹿児島県	(株)エフエム鹿児島	ミュ-FM	福島県	(株)エフエム福島	フクシマFM
東京都	FMインターフェース(株)	InterFM	北海道	(株)エフエム・ノースウェーブ	NORTH WAVE
神奈川県	横浜エフエム放送(株)	Fm Yokohama	北海道	(株)エフエム北海道	AIR-G'
岐阜県	岐阜エフエム(株)	Radio 80	三重県	三重エフエム放送(株)	Radio3 FMミ
京都府	(株)エフエム京都	FMキョウト	宮城県	(株)エフエム仙台	Date fm
熊本県	(株)エフエム熊本	FMK	宮崎県	(株)エフエム宮崎	JOY FM
群馬県	(株)エフエム群馬	FM GUNMA	山形県	(株)エフエム山形	BOY FM
	放送大学	ホソウタダイガク	山口県	(株)エフエム山口	FMヤマぐち
高知県	(株)エフエム高知	FM KOCHI	山梨県	(株)エフエム富士	FM-FUJI
埼玉県	(株)FM NACK5	NACK5			
佐賀県	(株)エフエム佐賀	FMサガ			
滋賀県	(株)エフエム滋賀	e-radio			
静岡県	静岡エフエム放送(株)	K-MIX			



オートプリセットで記憶させることができる放送局は、手順2で設定したお住まいの都道府県と隣接する都道府県の放送局のみです。それ以外の放送局はマニュアルプリセット(26ページ参照)で記憶させてください。

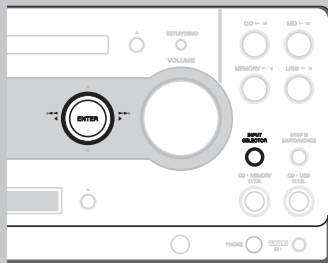
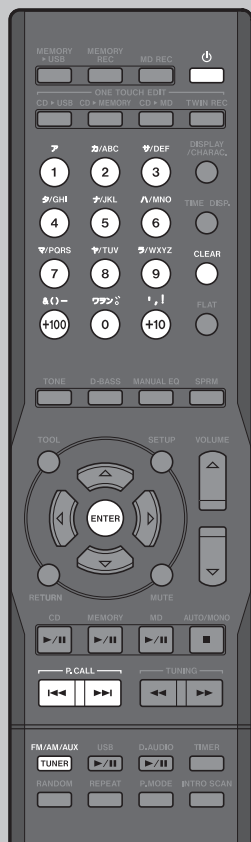
放送局名自動表示リスト以外の放送局はマニュアルプリセット(26ページ参照)で記憶させてください。

電波状況が悪く **TUNED** が点灯していない場合は、放送局名は表示されません。

放送局を記憶させる (つづき)



ラジオのみ

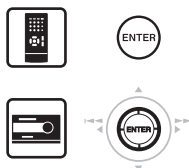


放送局を手動で記憶させる (マニュアルプリセット)

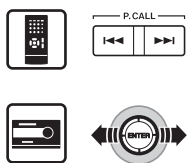
1 記憶させたい放送局を選ぶ

※オート選局またはマニュアル選局で放送局を選びます。(23ページ参照)

2 選んだらENTERキーを押す

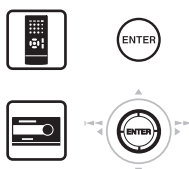


3 記憶させたいプリセット番号 (P01 ~ P40) を選ぶ



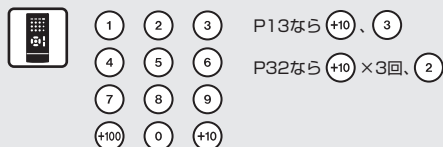
※すでに放送局を記憶させてあるプリセット番号に重ねて記憶させると、新しい設定に変更されます。

4 放送局を記憶させる



※続けて記憶させたい場合は、手順1 ~ 4を繰り返してください。

■ 数字キーで放送局 (プリセット番号) を選ぶには



記憶させた放送局を消す

1 消したい放送局をプリセット番号から選ぶ



※プリセット番号P40は消せません。



2 選んだらCLEARキーを押す



TUNER P03
CLEAR?

ディスプレイに[CLEAR?]と20秒間表示されます。

3 放送局を消す



ディスプレイに[CLEAR?]と表示されている間にENTERキーを押してください。



※20秒間操作されなかった場合はもとの表示に戻ります。

■ 放送局を消すと

例) P11の■■局を消す



後ろのプリセット番号が前に詰まる。

空いてしまうプリセット番号には自動的に76MHzが記憶されます。

CDの曲を録音する (ワンタッチエディット録音)



USBオーディオ
プレーヤーの場合

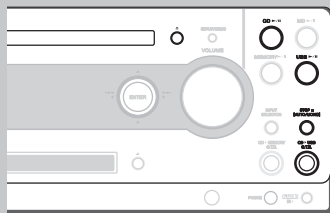
準備

USBオーディオプレーヤー、CDの再生が停止しているか確認してください。

ⓧ が点灯している場合は、RANDOMキーを押してランダム再生モードを解除してください。

※録音中、メモリアードを挿入しないでください。録音が停止します。

※録音モードの設定を変更するには82～89ページ参照。



全曲録音する

1 録音する



■途中でやめるには



USBオーディオプレーヤー内にフォルダ名AL_Z90番台があると[Riフレッシュシテクダサイ]と表示され、録音することができません。フォルダの整理が必要です。リフレッシュを行ってください。(78ページ参照)

■録音が終了すると

CD T01
DATA WRITING

USBオーディオプレーヤーが停止して、[DATA WRITING]と表示されます。

※[DATA WRITING]表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

※[DATA WRITING]が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

■録音中USBオーディオプレーヤーがいったいになると

ロックオン ティシ
ヨリヨウガアリマセン

[ロックオン ティシ ヨリヨウガアリマセン]と表示されます。録音し直す場合は、不要な曲を削除してください。(46ページ参照)

1 曲録音する

1 録音したい曲を再生する

2 録音する



CD ▶ USB

再生中の曲の
頭から録音が
始まります。CD ▶ USB
O.T.E.

■途中でやめるには



AUTO/MONO

※一時停止は
できません。STOP ■
[AUTO/MONO]※一時停止は
できません。

好きな曲を好きな順番で録音する

1 録音したい曲を選ぶ

プログラムモードで好きな曲を好きな
順番で選びます。(14ページ、手
順1~5参照)

2 録音する



CD ▶ USB

CD ▶ USB
O.T.E.

■途中でやめるには



AUTO/MONO

※一時停止は
できません。STOP ■
[AUTO/MONO]※一時停止は
できません。CDからUSBオーディオプレーヤーへのワンタッチエディット録音は、TOOLからも行えます。
(75ページ参照)CD-TEXTに対応したCDでは、録音するとき曲名やアルバム名などの文字情報を一緒にコピー
することができます。(89ページ参照)

■こんなときは

短時間で録音したい 84ページ参照 (録音スピードを設定する)

USBオーディオプレーヤー内の
情報を見たい 77ページ参照

フォルダ、曲ファイルを消去したい 46ページ参照

フォルダを整理したい 78ページ参照

フォルダ、曲ファイルの
名前を変更したい 58ページ参照

CDの曲を録音する (ワンタッチエディット録音)



メモ리카ードの場合

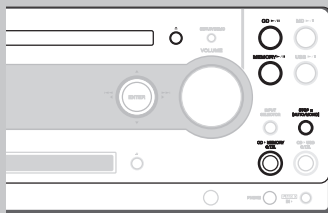
準備

メモ리카ード、CDの再生が停止しているか確認してください。

ⓧ が点灯している場合は、RANDOMキーを押してランダム再生モードを解除してください。

※録音中、USBオーディオプレーヤーを接続しないでください。録音が停止します。

※録音モードの設定を変更するには82～89ページ参照。



全曲録音する

1 録音する



■途中でやめるには



Hint メモ리카ード内にフォルダ名AL_Z90番台があると[RIFレッシュシテクダサイ]が表示され、録音することができません。フォルダの整理が必要です。リフレッシュを行ってください。(78ページ参照)

■録音が終了すると



メモ리카ードが停止して、[DATA WRITING]と表示されます。

※[DATA WRITING]表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

※[DATA WRITING]が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

■録音中メモ리카ードがいっぱいになると



[ロックオン テイシ ヨリョウガアリマセン]と表示されます。録音し直す場合は、不要な曲を削除してください。(46ページ参照)

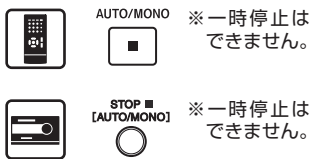
1 曲録音する

1 録音したい曲を再生する

2 録音する



■途中でやめるには

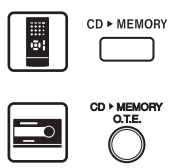


好きな曲を好きな順番で録音する

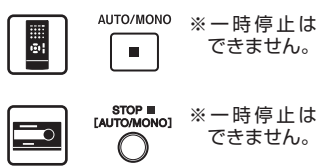
1 録音したい曲を選ぶ

プログラムモードで好きな曲を好きな順番で選びます。(14ページ、手順1~5参照)

2 録音する



■途中でやめるには



Hint CDからメモ리카ードへのワンタッチエディット録音は、TOOLからも行えます。(75ページ参照)
CD-TEXTに対応したCDでは、録音するときに曲名やアルバム名などの文字情報を一緒にコピーすることができます。(89ページ参照)

■こんなときは

- 短時間で録音したい 84ページ参照 (録音スピードを設定する)
- メモ리카ード内の情報を見たい 77ページ参照
- フォルダ、曲ファイルを消去したい 46ページ参照
- フォルダを整理したい 78ページ参照
- フォルダ、曲ファイルの名前を変更したい 58ページ参照

CDの曲を録音する (ワンタッチエディット録音)



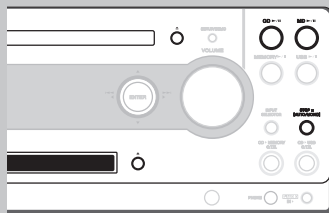
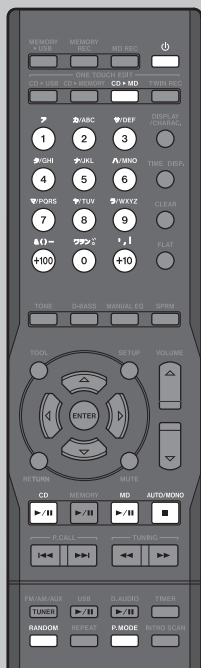
MDの場合

準備

CD、MDの再生が停止しているか確認してください。

⌂ が点灯している場合は、RANDOMキーを押してランダム再生モードを解除してください。

※録音モードの設定を変更するには82～89ページ参照。



全曲録音する

1 録音する



CD ▶ MD



■途中でやめるには



AUTO/MONO



※一時停止はできません。



STOP ■

[AUTO/MONO]



※一時停止はできません。



MDにLPモード(LP2、LP4)で録音した場合、MDLPに対応していない機器では再生できません。(83ページ参照)

■録音が終了すると

CD T01
MD WRITING

MDが停止して、[MD WRITING]と表示されます。

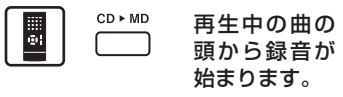
※ [MD WRITING] 表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

※ [MD WRITING] が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

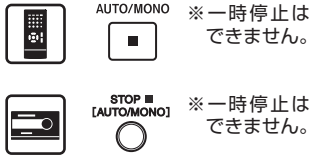
1 曲録音する

1 録音したい曲を再生する

2 録音する



■途中でやめるには



好きな曲を好きな順番で録音する

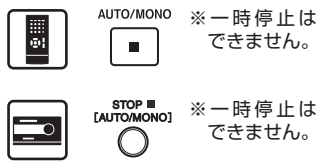
1 録音したい曲を選ぶ

プログラムモードで好きな曲を好きな順番で選びます。(14ページ、手順1～5参照)

2 録音する



■途中でやめるには



Hint CDからMDへのワンタッチエディット録音は、TOOLからも行えます。(75ページ参照)
 CD-TEXTに対応したCDでは、録音するときに曲名やアルバム名などの文字情報を一緒にコピーすることができます。(89ページ参照)
 いったん4倍速録音を始めると、録音を始めてから74分以内に同じCDまたは同じ曲を4倍速録音することはできません。

■こんなときは

- 短時間で録音したい 84ページ参照 (録音スピードを設定する)
- ディスクタイトルを入力したい 60ページ参照
- トラックタイトルを入力したい 60ページ参照
- グループの設定、解除、編集をしたい ... 62ページ参照

■録音中MDがいっぱいになると



[DISC FULL] と表示されます。
 録音し直す場合は、不要な曲を削除してください。(48ページ参照)

TWIN RECで同時に録音する (ワンタッチエディット録音)



メモ리카ードと
MDへ

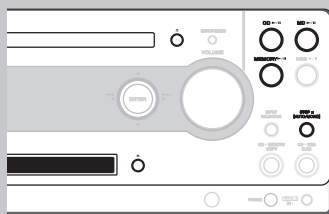
準備

メモ리카ード、CD、MDの再生が停止しているか確認してください。

⌂ が点灯している場合は、RANDOMキーを押してランダム再生モードを解除してください。

※録音中、USBオーディオプレーヤーを接続しないでください。録音が停止します。

※録音モードの設定を変更するには82～89ページ参照。



全曲録音する

1 録音する



TWIN REC



■途中でやめるには



AUTO/MONO



※一時停止はできません。



STOP [AUTO/MONO]



※一時停止はできません。



Hint

メモ리카ード内にフォルダ名AL_Z90番台があると[リフレッシュテクダサイ]が表示され、録音することができません。フォルダの整理が必要です。リフレッシュを行ってください。(78ページ参照)

■録音中MDまたはメモ리카ードどちらかがいっぱいになった場合は

**ロクオン テイシ
ヨクリョウガアリマセン**

[ロクオン テイシ ヨクリョウガアリマセン]と表示されいっぱいになった方は録音を停止します。もう片方は録音を続けます。録音し直す場合は不要な曲を削除してください。(46、48ページ参照)

1 曲録音する

1 録音したい曲を再生する

2 録音する



TWIN REC



再生中の曲の
頭から録音が
始まります。

■途中でやめるには



AUTO/MONO



※一時停止は
できません。



STOP ■
[AUTO/MONO]



※一時停止は
できません。

好きな曲を好きな順番で録音する

1 録音したい曲を選ぶ

プログラムモードで好きな曲を好きな
順番で選びます。(14ページ、手
順1~5参照)

2 録音する



TWIN REC



■途中でやめるには



AUTO/MONO



※一時停止は
できません。



STOP ■
[AUTO/MONO]



※一時停止は
できません。



TWIN RECは、TOOLからも行えます。(75ページ参照)

CD-TEXTに対応したCDでは、録音するときに曲名やアルバム名などの文字情報を
一緒にコピーすることができます。(89ページ参照)

いったん4倍速録音を始めると、録音を始めてから74分以内に同じCDまたは同じ曲を4倍速録音
することはできません。

■こんなときは

- 短時間で録音したい 84ページ参照 (録音スピードを設定する)
- メモ리카ード内の情報を見たい 77ページ参照
- フォルダ、曲ファイルを消去したい 46ページ参照
- MDの曲を削除したい 48ページ参照
- フォルダを整理したい 78ページ参照
- フォルダ、曲ファイルの
名前を変更したい 58ページ参照

メモリカードからUSBオーディオプレーヤーへ転送する (ワンタッチエディット転送)

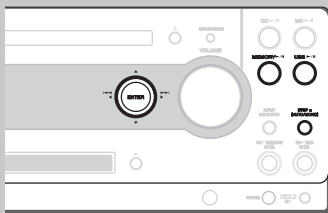
メモリカードからUSBオーディオプレーヤーへの録音は、曲ファイルの転送となります。曲ファイルが移動するのでメモリカード内からは曲ファイルがなくなります。

※USBオーディオプレーヤーへ転送した曲ファイルはメモリカードへ戻すことはできません。

準備

USBオーディオプレーヤー、メモリカードの再生が停止しているか確認してください。

※録音モードの設定を変更するには 82～89ページ参照。

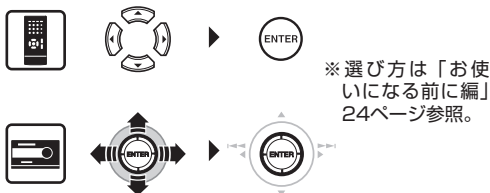


1 曲転送する

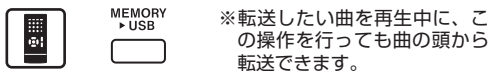
1 音源をメモリカードに切り換える



2 転送したい曲ファイルを選び再生する



3 転送する



メモリカードからUSBオーディオプレーヤーへのワンタッチエディット転送は、TOOLからも行えます。(74ページ参照)

■ 転送中USBオーディオプレーヤーがいっぱいになると

テンソウ エラー
USB ヲカクニン

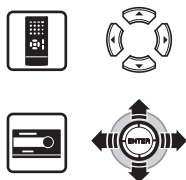
[テンソウ エラー USB ヲカクニン]と表示されます。転送し直す場合は、不要な曲を削除してください。(46ページ参照)

フォルダ内すべての曲を転送する

1 音源をメモリーカードに切り換える



2 転送したいフォルダを選択する



※選び方は「お使いになる前に編」24ページ参照。

3 転送する



※転送中に何らかのキーを押すと[テンソウ チュウデス KEYLOCKサレテイマス]と表示されます。転送が終わるまで他の操作はできません。



USBオーディオプレーヤー内にフォルダ名AL_Z90番台があると[リフレッシュシテクダサイ]と表示され、転送することができません。フォルダの整理が必要です。リフレッシュを行ってください。(78ページ参照)

■ こんなときは

- USBオーディオプレーヤー、メモリーカード内の情報を見たい …………… 77ページ参照
- フォルダ、曲ファイルを消去したい …… 46ページ参照
- フォルダを整理したい …………… 78ページ参照
- フォルダ、曲ファイルの名前を変更したい …………… 58ページ参照

MDの曲を録音する

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を録音する



メモ리카ードの場合

準備

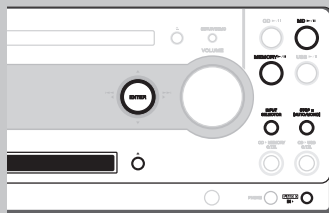
ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーをD.AUDIO IN端子に接続してください。〔お使いになる前に編〕14ページ参照

メモ리카ードの再生が停止しているか確認してください。

⏏ が点灯している場合は、RANDOMキーを押してランダム再生モードを解除してください。

※録音中、USBオーディオプレーヤーを接続しないでください。録音が停止します。

※録音モードの設定を変更するには82～89ページ参照。



1 録音する音源を選ぶ



MD または



2 録音の準備をする

①



再生を一時停止します。

②

録音したい曲を選びます。

※録音したい曲を頭出しした状態になります。

※別売の専用ケーブル PNC-150を使って接続すると、本機やリモコンでケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの操作が行えます。

※PNC-150以外のケーブルで接続している場合は、接続したケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー側で操作します。

3 録音待機する



録音一時停止（待機）状態になります。



※[MEMORY CARD]とスクロール表示されます。

■ 停止するには



■ 一時停止するには



※再び録音を始める場合は、もう一度押します。このとき曲ファイル名は1繰り上がります。

4 録音を始める

MDの曲を録音する場合



※[MEMORY CARD ヲ ヌカ
ナイテクダサイ]とスクロー
ル表示されます。

※音源がCDでも同じ手順で
録音することが可能です。

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を録音する場合

1



再度MEMORY REC
キーを押し、録音を
開始します。

※[MEMORY CARD ヲ ヌカ
ナイテクダサイ]とスクロー
ル表示されます。

2



ケンウッド製デジタ
ルオーディオプレー
ヤーを再生させます。

※PNC-150以外のケーブルで接続している
場合は、接続したケンウッド製デジタル
オーディオプレーヤー側で操作します。



メモリカード内にフォルダ名AL_Z90番台がある
と[リフレッシュシテクダサイ]と表示され、録音
することができません。フォルダの整理が必要で
す。リフレッシュを行ってください。(78ページ
参照)

音源がCDまたはMDの場合はプログラムモードで好
きな曲を好きな順番で録音できます。(14ページ参照)

■ 録音時のトラック分割について

ラジオや外部入力、またはD.AUDIO
を録音するとき手でトラックマー
ク(曲を区切るマーク)を付けること
ができ、押すごとに曲ファイルが作
成されます。



区切りたい場所
で押します。



※自動でトラック
マークを付け
たい場合は86
ページ参照。

- 録音した音が歪む、
または小さいと感じた場合は
録音レベルを調整してください。
(85ページ参照)

録音する

MDの曲を録音する
ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を録音する

■ 録音が終了すると

MD T001
DATA WRITING

メモリカードが停止して、
[DATA WRITING]と表示されます。

※[DATA WRITING]表示中は電源を切っ
たり衝撃や振動を加えないでください。

※[DATA WRITING]が完了する前に電
源が切れると録音した内容が消えます。

■ 録音中メモリカードが いっぱいになると

ロクオン テイシ
ヨウリョウガ アリマセン

[ロクオン テイシ ヨウリョウガ
アリマセン]と表示されます。録音
し直す場合は、不要な曲を削除し
てください。(46ページ参照)

メモ리카ードの曲を録音する ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を録音する



MDの場合

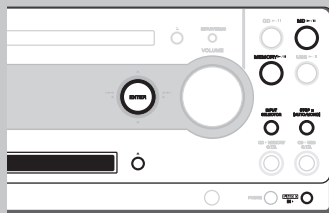
準備

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーをD.AUDIO IN端子に接続してください。
(「お使いになる前に編」14ページ参照)

MDの再生が停止しているか確認してください。

ⓧ が点灯している場合は、RANDOMキーを押してランダム再生モードを解除してください。

※録音モードの設定を変更するには82～89ページ参照。



1 録音する音源を選ぶ



MEMORY

D.AUDIO

または



2 録音の準備をする

①



MEMORY

D.AUDIO

再生を



一時停止します。

②

録音したい曲を選びます。

※録音したい曲を頭出しした状態になります。

※別売の専用ケーブル PNC-150を使って接続すると、本機やリモコンでケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの操作が行えます。

※PNC-150以外のケーブルで接続している場合は、接続したケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー側で操作します。

3 録音待機する



MD REC



録音一時停止 (待機) 状態になります。



■ 停止するには

■ 一時停止するには



AUTO/MONO



MD REC



または

MD



※再び録音を始める場合は、もう一度押します。このときトラック番号は1繰り上がります。

4 録音を始める

メモ리카ードの曲を録音する場合



※音源がCDでも同じ手順で録音することが可能です。

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を録音する場合



※PNC-150以外のケーブルで接続している場合は、接続したケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー側で操作します。



MDにLPモード(LP2、LP4)で録音した場合、MDLPに対応していない機器では再生しても音は流れません。

音源がCDの場合はプログラムモードで好きな曲を好きな順番で録音できます。(14ページ参照)

■ 録音時のトラック分割について

ラジオや外部入力、またはD.AUDIOを録音するとき手でトラックマーク(曲を区切るマーク)を付けることができ、押すごとに曲ファイルが作成されます。



区切りたい場所
で押します。



※自動でトラック
マークを付け
たい場合は86
ページ参照。

※分割したトラック
は後で編集する
ことができます。

- 録音した音が歪む、
または小さいと感じた場合は
録音レベルを調整してください。
(85ページ参照)

録音する

メモ리카ードの曲を録音する
ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を録音する

■ 録音が終了すると

MEMORY F001
MD WRITING

MDが停止して、[MD WRITING]と表示されます。

※ [MD WRITING] 表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

※ [MD WRITING] が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

■ 録音中MDがいっぱいになると

MEMORY F001
DISC FULL

[DISC FULL]と表示されます。
録音し直す場合は、不要な曲を削除してください。(48ページ参照)

ラジオ (FMまたはAM) を録音する 外部入力 (AUX) から録音する



メモ리카ードの場合

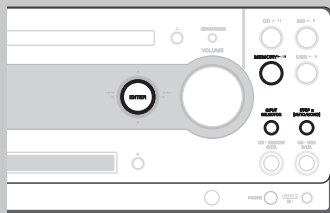
準備

メモ리카ードの再生が停止しているか確認してください。

☞ が点灯している場合は、RANDOMキーを押してランダム再生モードを解除してください。

※録音中、USBオーディオプレーヤーを接続しないでください。録音が停止します。

※録音モードの設定を変更するには 82～89ページ参照。

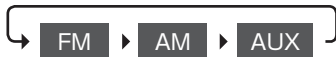


1 録音する音源を選ぶ



FM/AM/AUX
TUNER

押すごとに
切り換わります。



INPUT
SELECTOR

押すごとに
切り換わります。



2 録音の準備をする

ラジオ放送 (FMまたはAM) を録音する場合

選局します。(22～23ページ参照)

外部入力機器 (AUX) から録音する場合

受信や再生などの準備をします。(10ページ参照)



メモ리카ード内にフォルダ名AL_Z90番台があると[リフレッシュシテクダサイ]と表示され、録音することができません。フォルダの整理が必要です。リフレッシュを行ってください。(78ページ参照)

■ 停止するには



AUTO/MONO
■



STOP ■
[AUTO/MONO]

■ 一時停止するには



MEMORY
REC

MEMORY
▶/||



MEMORY ▶/||

※再び録音を始める場合は、もう一度押します。このとき曲ファイル名は1繰り上がります。

3 録音待機する



録音一時停止(待機)状態になります。



※[MEMORY CARD]ラネカナイデクダサイとスクロール表示されます。

4 録音を始める



再度RECキーを押し、録音を開始します。



※[MEMORY CARD]ラネカナイデクダサイとスクロール表示されます。

5 外部入力の再生を始める

※ラジオの場合、この手順は不要です。

■ 録音時のトラック分割について

ラジオや外部入力、またはD.AUDIOを録音するとき手でトラックマーク(曲を区切るマーク)をつけることができ、押すごとに曲ファイルが作成されます。



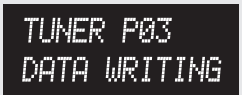
区切りたい場所
で押します。



※自動でトラック
マークを付け
たい場合は86
ページ参照。

■ 録音した音が歪む、または小さいと感じた場合は録音レベルを調整してください。(85ページ参照)

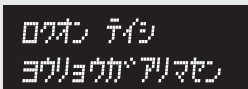
■ 録音が終了すると



メモ리카ードが停止して、[DATA WRITING]と表示されます。

- ※ [DATA WRITING]表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。
- ※ [DATA WRITING]が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

■ 録音中メモ리카ードがいっぱいになると



[ロックオン テイシ ヨウリョウガアリマセン]と表示されます。録音し直す場合は、不要な曲を削除してください。(46ページ参照)

ラジオ (FMまたはAM) を録音する 外部入力 (AUX) から録音する



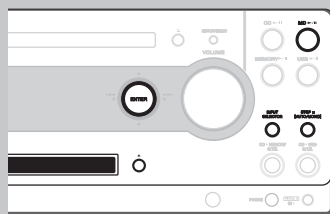
MDの場合

準備

MDの再生が停止しているか確認してください。

⌂ が点灯している場合は、RANDOMキーを押してランダム再生モードを解除してください。

※録音モードの設定を変更するには 82 ~ 89ページ参照。

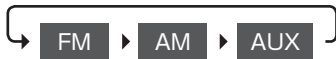


1 録音する音源を選ぶ



FM/AM/AUX
TUNER

押すごとに
切り換わります。



INPUT
SELECTOR

押すごとに
切り換わります。



2 録音の準備をする

ラジオ放送 (FMまたはAM) を録音する場合

選局します。(22 ~ 23ページ参照)

外部入力機器 (AUX) から録音する場合

受信や再生などの準備をします。(10ページ参照)

■ 停止するには



AUTO/MONO



■ 一時停止するには



MD REC



または

MD



STOP ■
[AUTO/MONO]



MD ▶/||



※再び録音を始める場合は、もう一度押します。このときトラック番号は1繰り上がります。

3 録音待機する



MD REC



録音一時停止(待機)状態になります。



4 録音を始める



MD REC



再度MD RECキーを押し、録音を開始します。



5 外部入力の再生を始める

※ラジオの場合、この手順は不要です。

■ 録音時のトラック分割について

ラジオや外部入力、またはD.AUDIOを録音するとき手動でトラックマーク(曲を区切るマーク)を付けることができ、押すごとに曲ファイルが作成されます。



区切りたい場所で押します。

※自動でトラックマークを付けたい場合は86ページ参照。



※分割したトラックは後で編集することができます。

- 録音した音が歪む、または小さいと感じた場合は録音レベルを調整してください。(85ページ参照)

録音する

ラジオ(FMまたはAM)を録音する外部入力(AUX)から録音する

■ 録音が終了すると



MDが停止して、[MD WRITING]と表示されます。

- ※ [MD WRITING] 表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。
- ※ [MD WRITING] が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

■ 録音中MDがいっぱいになると



[DISC FULL]と表示されます。録音し直す場合は、不要な曲を削除してください。(48ページ参照)

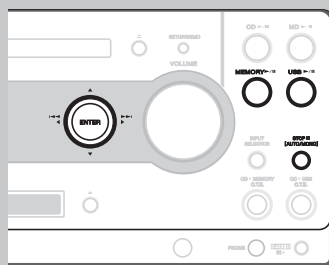
曲を消す



USBオーディオプレーヤーまたはメモ리카ードの場合

消したい曲を再生して、確認しながら消すこともできます。その場合は消したい曲を再生しながら操作してください。

一度消した曲はもとに戻りません。本操作を行うときはご注意ください。



1 音源を切り換える



USB



または

MEMORY



2 消したい曲ファイルまたはフォルダを選ぶ

※選び方は「お使いになる前に編」24ページ参照。

1曲ずつ消す場合



曲ファイルを選びます。
※再生中はその曲ファイルが選択されます。

フォルダとフォルダ内のすべての曲を消す場合



フォルダを選びます。
※フォルダが消せない場合は曲ファイル以外のファイルが入っている可能性があります。(101ページ参照)

■途中でやめるには



TOOL



AUTO/MONO



または



STOP
[AUTO/MONO]



3 TOOLキーを押し [ERASE] を 選び決定する



4 確認して、実行する



※曲ファイルやフォルダを消した後は、F001が表示されます。



メモリーカードの書き込み禁止スイッチがLockになっていると、操作を完了しても [Lock サレテイマス] と表示され、曲ファイルを消すことができません。

フォルダ内に曲ファイル以外のファイルがある場合に、フォルダを選択して消す操作を行うと、フォルダと曲ファイル以外のデータを残して曲ファイルだけ消されます。

本機ではMEMORY FORMATをしないと曲ファイル以外のファイルを消すことはできません。(95ページ参照)

選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

曲を消す



MDの場合

消した曲の後ろのトラック番号は自動的に調整されます。一度消した曲はもとに戻りません。本操作を行うときはご注意ください。

準備

音源をMDに切り換えておきます。

が点灯している場合は、P.MODE キーを押してグループ再生モードを解除してください。

PGMが点灯している場合は、P.MODEキーを押してプログラム再生モードを解除してください。

TOOLキーを押し[EDIT] 選択後、[EDIT TRACK] を選んでおきます。



TOOL



◦EDIT
D.T.E. MODE



ENTER



◦EDIT TRACK
EDIT GROUP



ENTER

1 曲ずつ選んで消す

1 [ERASE] を選び決定する



MOVE
◦ERASE



2 消したい曲を選び決定する



ERASE
TRACK 001



※再生中に[ERASE]を選んだ場合は、再生していた曲が表示され、他の曲を選ぶことはできません。

3 確認して、実行する

ERASE
TRACK 001 OK



■途中でやめるには



TOOL



AUTO/MONO

または



STOP ■
[AUTO/MONO]



全曲消す

1 [ERASE] を選び決定する



2 [TRACK ALL] (全曲) を選び決定する



3 確認して、実行する



MDの誤消去防止つまみが開いていると、操作を実行しても[PROTECTED]と表示され曲を消すことができません。選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

■ 編集を取り消すには

MD WRITING前なら
それまで行った編集を取り消すことができます。
(65ページ参照)



MDを取り出します。
※ [MD WRITING]
と表示されます。



※ [MD WRITING] 表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。
※ [MD WRITING] が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

曲を移動する (MOVE)



MDのみ

指定した曲を目的のトラック番号の位置へ移動（挿入）します。前後の曲のトラック番号は、自動的に調整されます。MOVEを繰り返し行くと、全曲お好みの曲順に並べ替えることができます。

準備

音源をMDに切り換えておきます。

が点灯している場合は、P.MODEキーを押してグループ再生モードを解除してください。

が点灯している場合は、P.MODEキーを押してプログラム再生モードを解除してください。

TOOLキーを押し[EDIT] 選択後、[EDIT TRACK]を選んでおきます。



TOOL



EDIT
O.T.E. MODE



EDIT TRACK
EDIT GROUP



1 [MOVE] を選び決定する



MOVE
ERASE



※ディスクに1曲だけしか入っていない場合は移動できません。

※[RETURN]を選ぶと、前の画面に戻ります。

2 移動する曲を選び決定する



MOVE
TRACK 010



例) 移動したい曲に
10曲目を選択した場合。

※再生中は再生している曲が自動的に選択、決定されます。

■途中でやめるには



TOOL



または

AUTO/MONO



STOP ■
[AUTO/MONO]



3 曲の移動先を選び決定する



例) 移動先に7曲目 (6曲目と7曲目の間) を選択した場合。

※ 1曲目は [TOP]、最後の曲は [END] と表示されます。

4 確認して、実行する



MDの誤消去防止つまみが開いていると、操作を実行しても [PROTECTED] と表示され曲を消すことができません。

曲の移動先が別のグループの場合は移動後、そのグループに登録されます。グループについては62ページ参照。

選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

■ 編集を取り消すには

MD WRITING前なら
それまで行った編集を取り消すことができます。
(65ページ参照)



MDを取り出します。

※ [MD WRITING] と表示されます。



※ [MD WRITING] 表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

※ [MD WRITING] が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

曲をつなぐ (COMBINE)



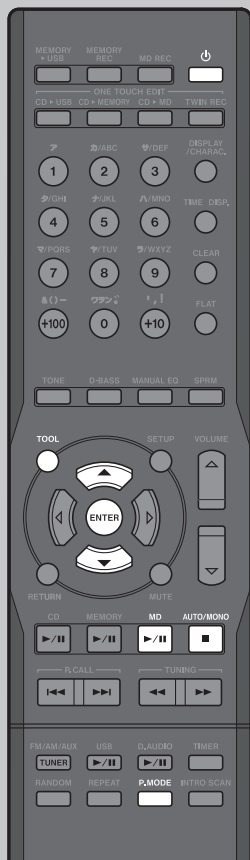
MDのみ

2つの曲をつないで、1曲にします。
いくつかの曲や、細かく分割されて
いる曲をまとめることができます。

準備

▶が点灯している場合は、P.MODE
キーを押してグループ再生モードを
解除してください。

PGMが点灯している場合は、
P.MODEキーを押してプログラム再
生モードを解除してください。



1 先頭になる曲を再生する



2 TOOLキーを押しEDIT選択後、 [EDIT TRACK]を選び決定する



EDIT
O.T.E. MODE



EDIT TRACK
EDIT GROUP



※この時再生中の曲は一時停止
状態となります。

■途中でやめるには



または



3 [COMBINE] を選び決定する



※ディスクに1曲だけしか入っていない場合は曲をつなげません。

4 後ろになる曲を選び決定する



例) 5曲目と11曲目をつなぐ場合。

5 確認して、実行する



異なる録音モードの曲はつなぐことができません。(例: LP4+ LP2 など) Net MD対応機器でパソコンからチェックアウトされた曲と通常に録音した曲も、つなぐことができません。

異なるグループの曲をつなげた場合は、先頭になる曲と同じグループに登録されます。グループについては62ページ参照。

つないだ曲から後ろの曲は、トラック番号が自動的に調整されます。

選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

■ 編集を取り消すには

MD WRITING前なら
それまで行った編集を取り消すことができます。
(65ページ参照)



MDを取り出します。

※ [MD WRITING] と表示されます。



※ [MD WRITING] 表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

※ [MD WRITING] が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

曲を分ける (DIVIDE)



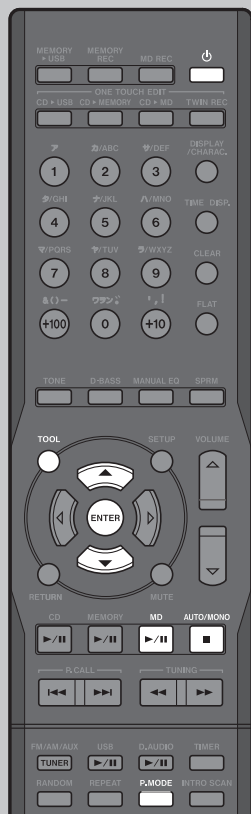
MDのみ

曲の途中にトラック番号を追加して曲を分割します。特に聞きたいところにトラック番号を追加しておくことで、スキップできるので便利です。分けたポイントで繰り返し聞きながら微調整することができます。

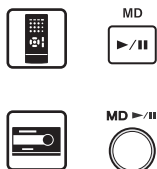
準備

PGMが点灯している場合は、P.MODEキーを押してグループ再生モードを解除してください。

PGMが点灯している場合は、P.MODEキーを押してプログラム再生モードを解除してください。



1 MDの曲を再生し、分けたいポイントで一時停止する



2 TOOLキーを押し [EDIT] 選択後、[EDIT TRACK] を選び決定する



■途中でやめるには

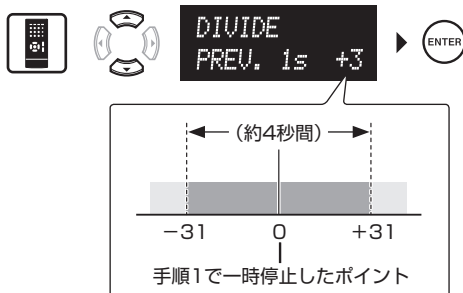


3 [DIVIDE] を選び決定する



例) 10曲目を分けた場合。

4 曲を分けるポイントを調整、決定する



調整はMULTI CONTROLキーの上下で行います。

※分割ポイントは一時停止した所から-31～+31(前後約2秒間)の範囲で微調整できます。

※調整を行うために分割ポイントから約2秒間の再生が繰り返されます。

5 確認して、実行する



分けた曲から後ろの曲は、トラック番号が自動的に調整されます。最大254までトラックを分割できます。

グループ登録した曲を分けた場合も、分けた曲から後ろの曲は、トラック番号が自動的に調整されます。グループの範囲が変わることはありません。

選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

■ 編集を取り消すには

MD WRITING前なら
それまで行った編集を取り消すことができます。
(65ページ参照)



MDを取り出します。

※ [MD WRITING] と表示されます。



※ [MD WRITING] 表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

※ [MD WRITING] が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。


文字入力のかた




曲名など、文字の入力についての説明です。名前の変更(58～61ページ)も併せてご覧ください。



1 文字を入力する

- 

文字のグループを選びます。押すごとに文字の種類が切り換わります。

※詳しくは右記のタイトル編集文字一覧表をご覧ください。
- 

文字入力キーを押して、文字を入力します。

例) グループ[Aa]で②を押したとき以下のように入り換わります。

→ A ▶ B ▶ C ▶ a ▶ b ▶ c
- ①、②を繰り返して文字を入力していきます。

例) HAPPYと入力する場合の操作は以下のようになります。



文字	キー	押す回数
H		2回押します
A		1回押します
P		1回押します
カーソルを移動		1回押します
P		1回押します
Y		3回押します

※カタカナ、数字を入力する場合はDISPLAY/CHARAC.キーで文字のグループを選び同じ要領で入力します。

2 タイトルを確定する



タイトル編集文字一覧表

数字キー	グループ	Aa	12	アア
①	1ア	□ (スペース)	1	アイウエオアイウエオ
②	2カABC	A B C a b c	2	カキクケコ
③	3サDEF	D E F d e f	3	サシスセソ
④	4タGHI	G H I g h i	4	タチツテトツ
⑤	5ナJKL	J K L j k l	5	ナニヌネノ
⑥	6ハMNO	M N O m n o	6	ハヒフヘホ
⑦	7マPQRS	P Q R S p q r s	7	マミムメモ
⑧	8ヤTUV	T U V t u v	8	ヤユヨヤユヨ
⑨	9ラWXYZ	W X Y Z w x y z	9	ラリルレロ
⑩	0ワラン °	□ (スペース)	0	° ワラン
⑩	+10 ' , !	' , . ? ! : . " " ' " \$ □ (スペース)		
⑩	+100 & () -	& () - / + * = < > # % @		

※ ° (濁点) ° (半濁点) はカーソル直前の文字によって入力できないことがあります。
 ※ ディスクタイトル、グループタイトルには/ (スラッシュ) を連続して入力しないでください。
 グループ登録が正しく認識できなくなる場合があります。

※ メモリカードやUSBオーディオプレーヤーの場合、: . ? / " * < > は曲ファイル・フォルダ名には入力できません。

入力できる文字数

メモリカードまたはUSBオーディオプレーヤーのフォルダ、曲ファイルにはそれぞれ最大28文字まで入力できます。

MD全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。

※ カタカナを使用したり、曲数が多い場合は、入力できる文字数が少なくなります。
 スペース (1文字ぶんの空白) も、文字と同じデータを必要とします。

■ 文字を消すには

- 

 消したい文字にカーソルを移動させます。
- 

 文字を消します。

■ 文字を挿入するには

- 
- 
- 挿入する箇所にカーソルを移動させ、文字を入力します。

■ メモリカードまたはUSBオーディオプレーヤーの場合


 AL_A01
 AL_A02
 管理番号


 MEMORY
 TR001.WMA
 管理番号

※ フォルダ名、曲ファイル名のタイトル前にあるアルファベットや番号 (管理番号) を変更するとフォルダ、曲ファイルの順序がずれてしまいます。なるべく管理番号の変更はしないでください。



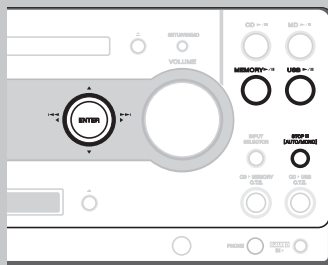
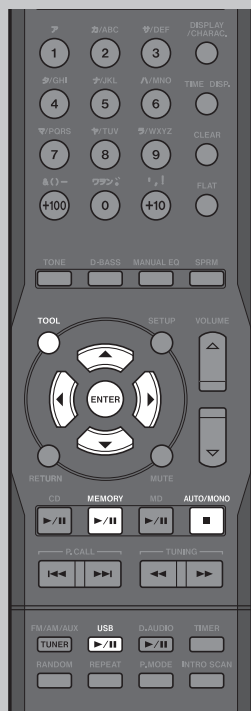
USBオーディオプレーヤーやメモリカードの曲ファイル名を変更する場合は、すでにある曲ファイルやフォルダの名前と同じ名前を付けないでください。
 選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

名前の変更



USBオーディオプレーヤーまたはメモ리카ードの場合

本機で録音した曲ファイルや作成されたフォルダ（KWDフォルダに入っています）以外のデータの名前を変更しないでください。KWDフォルダについては「お使いになる前に編」24ページ参照。



曲ファイルやフォルダの名前を変更する

1 音源を切り換える



USB または



USB または



2 名前を変更したい曲ファイルまたはフォルダを選ぶ



※選び方は「お使いになる前に編」24ページ参照。

※再生中の場合は、再生されている曲ファイルの名前を変更します。

■途中でやめるには



TOOL または



STOP [AUTO/MONO]

3 TOOLキーを押し [TITLE INPUT] を選び決定する



4 文字を入力する

56ページ参照。

5 タイトルを確定する



※他の曲ファイルやフォルダの名前を変更する場合は、続けて手順2～5を繰り返し行ってください。



USBオーディオプレーヤーやメモ리카ードの曲ファイル名を変更する場合は、すでにある曲ファイルやフォルダの名前と同じ名前を付けないでください。

選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

名前の変更



MDの場合

準備

グループ名を変える場合は、グループモードに切り換えておきます。

PGMが点灯している場合は、P.MODEキーを押してプログラム再生モードを解除してください。

TOOLキーを押し[EDIT] 選択後、[TITLE INPUT] を選んでおきます。



TOOL



◦EDIT
Q.T.E. MODE



EDIT GROUP
◦TITLE INPUT



曲やディスクの名前を変える

1 名前を変更したい曲を選び決定する



TITLE INPUT
T001:HAPPY



※ディスクの名前を変更する場合は [DISC] を選びます。

2 文字を入力する

56ページ参照。

3 タイトルを確定する



TITLE INPUT
T001:SONG

※他の曲の名前を変更する場合は、続けて手順1～3を繰り返して行ってください。



選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

■途中でやめるには



TOOL



または

AUTO/MONO



STOP ■
[AUTO/MONO]



グループ名を変更する

1 名前を変更したいグループを選び決定する



※選んだグループ内のトラック名を変更したい場合は [Txxx] (トラック番号) を選びます。

2 文字を入力する

56ページ参照。

3 タイトルを確定する



※他のグループ名を変更する場合は、続けて手順1～3を繰り返し行なってください。

■ 編集を取り消すには

MD WRITING前なら
それまで行った編集を取り消すことができます。
(65ページ参照)



MDを取り出します。

※ [MD WRITING]
と表示されます。



※ [MD WRITING] 表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

※ [MD WRITING] が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

グループを編集する



MDのみ

複数のCDを1枚のMDに録音できるステレオ長時間モード（LP2またはLP4）は、収録できる曲の数が多くなる分、曲を管理するのが大変になります。そこで曲をグループ単位で分けて編集することで、各グループごとにタイトルをつけたり、選んだグループだけを再生したりと曲数の多いMDでも曲を管理しやすくなります。

先頭曲と最終曲を選んで、連続している曲をグループ登録することができます。

準備

MDを停止させてください。

が点灯している場合は、P.MODEキーを押してグループ再生モードを解除してください。

PGMが点灯している場合は、P.MODEキーを押してプログラム再生モードを解除してください。

TOOLキーを押し[EDIT] 選択後、[EDIT GROUP]を選んでおきます。



TOOL



◦EDIT
O.T.E. MODE



EDIT TRACK
◦EDIT GROUP



グループ登録する

例) 2曲目から12曲目までをグループ登録するとき

1 [GROUP START] を選び決定する



◦GROUP START
GROUP CANCEL



2 グループの先頭曲を選び決定する



GROUP START
002 - 002



例) 2曲目をグループの先頭曲に選んだ場合。

※他のグループに登録されている曲を選ぶことはできません。

3 グループの最終曲を選び決定する



GROUP START
002 - 012



例) 12曲目をグループの最終曲に選んだ場合。

※他のグループに登録されている曲を選ぶことはできません。

※グループは1曲だけでも登録できます。

4 確認して、実行する

GROUP START
002 - 012 OK?



■途中でやめるには



TOOL



または



STOP
[AUTO/MONO]



■編集を取り消すには

MD WRITING前ならそれまで行った編集を取り消すことができます。(65ページ参照)

グループ範囲を変更する

先頭曲と最終曲を再選択してグループ登録されている曲の範囲を変更します。

1 [GROUP EDIT] を選び決定する



2 範囲を変更するグループを選び決定する



※各グループを選択するとグループの範囲とタイトルがスクロールします。

3 変更する

62ページ「グループ登録する」の手順2～4を行ってください。



選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。
MDに入力できる制限に近い文字数が入力されている場合、グループの登録や編集ができないことがあります。(57ページ参照)

■ 編集を確定するには



MDを取り出します。

MD
MD WRITING

※ [MD WRITING]
と表示されます。

※ [MD WRITING] 表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

※ [MD WRITING] が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

グループを編集する (つづき)

登録したグループを解除する

※TOOLキーを押し [EDIT] 選択後、[EDIT GROUP] を選択しておいてください。
(62ページ参照)

1 [GROUP CANCEL] を選び決定する



2 解除するグループまたはすべてのグループを選び決定する

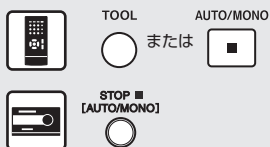


※各グループを選択した場合はグループタイトルとグループ範囲がスクロールします。

3 確認して、実行する



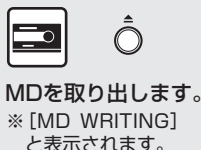
■途中でやめるには



■編集を取り消すには

MD WRITING前ならそれまで行った編集を取り消すことができます。(65ページ参照)

■編集を確定するには



MDを取り出します。
※ [MD WRITING] と表示されます。

※ [MD WRITING] 表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

※ [MD WRITING] が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

編集した内容を取り消す



MDのみ

MD WRITINGで編集を確定する前なら、それまで行った編集を取り消すことができます。

取り消したい場合は

- MDを取り出す前
- 電源をOFFにする前
- 録音する前

に行ってください。

準備

MDを停止させてください。

が点灯している場合は、P.MODEキーを押してグループ再生モードを解除してください。

PGMが点灯している場合は、P.MODEキーを押してプログラム再生モードを解除してください。

TOOLキーを押し[EDIT] を選んでおく



TOOL



◦EDIT
D.T.E. MODE



1 [EDIT CANCEL] を選び決定する



TITLE INPUT
◦EDIT CANCEL



※すでに編集内容を確定してしまっている場合は[EDIT CANCEL X]と表示され操作できません。



2 確認して、実行する

MD EDIT
CANCEL OK?



一度取り消した編集はもとに戻りません。必要な場合は、もう一度初めから編集を行ってください。
選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

■途中でやめるには



TOOL



または

AUTO/MONO



STOP ■
[AUTO/MONO]

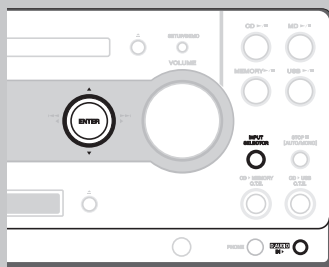


編集する

グループを編集する(つづき)
編集した内容を取り消す

外部機器の入力レベルを調整する

同じボリュームでも外部機器の音が他の音源より大きく、または小さく感じた場合は、入力レベルを調整して合わせることができます。



1 調整したい音源 (AUXまたはD.AUDIO) に切り換える



2 TOOLキーを押し [INPUT LEVEL] を選び決定する



※ [EXIT] を選ぶと、もとの表示に戻ります。

3 入力レベルを調整する



-3 ~ +3の範囲で調整します。

※入力レベルの調整は手順1で選んだ音源に
対してのみ有効です。

4 確定する



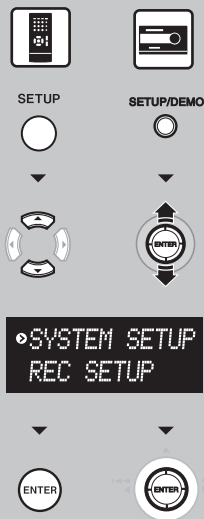
入力レベルを調整すると、AUX端子、D.AUDIO IN端子に接続された外部機器から録音するときの音量も変わります。
カーソルの移動や決定などの操作は本体でも行うことができます。

おやすみタイマーを設定する (SLEEP)

設定した時間が過ぎると、自動的に電源がOFFになります。

準備

SETUPキーを押し [SYSTEM SETUP] を選んでおきます。



1 [SLEEP] を選ぶ



2 時間を設定する



3 確定する



おやすみタイマー設定中に、「メモ리카ードからUSBオーディオプレーヤーへ転送する」(36ページ)、「曲を消す」(46ページ)、「メモ리카ード内のすべてのデータを消去する」(95ページ)を行うとおやすみタイマーがOFFになります。

■ おやすみタイマーを解除、または再設定するには

※電源をOFFにするか、または [OFF] を選びます。

もっと
使いこなす

外部機器の入力レベルを調整する
おやすみタイマーを設定する (SLEEP)

タイマーを使う

2種類のタイマー (PROGRAM 1、PROGRAM 2) を同時に設定できます。

PROGRAM 1 と PROGRAM 2 の作動する時間が重ならないように、1分以上の間を開けて設定してください。

ラジオ放送をタイマーで録音する場合、録音したい番組の開始時間ぴったりタイマーを設定すると最初の部分が頭切れになります。開始時間より1分程度早く設定してください。

準備

時計を合わせておいてください。
(97ページ参照)

外部機器の音を再生、または録音する場合は、外部機器を接続し外部機器のタイマーも設定しておいてください。(外部機器の取扱説明書をご覧ください)

操作中にRETURNキーを押すと、前の表示に戻ることができます。

SETUPキーを押し
[SYSTEM SETUP]を選んでおきます。



SETUP



SYSTEM SETUP
REC SETUP



1 [TIMER SETTING] を選ぶ



TIME ADJUST
TIMER SETTING



2 [PROGRAM 1 SET] または [PROGRAM 2 SET] を選ぶ



PROGRAM 1 SET
PROGRAM 2 SET



3 各項目を選んで設定する

設定できる項目は以下の通りです。
各項目については69～72ページ参照。

各項目の設定に順番はありません。
必要な項目を、お好きな順番で設定できます。



各項目を選んで



決定する



各項目の詳細を設定する

ON/OFF	タイマーが作動するまたはしないを設定する
PLAY/REC	再生または録音を選ぶ
ヨウヒ セットイ	曜日を選ぶ
ON TIME	開始時間を設定する
OFF TIME	終了時間を設定する
ON VOLUME	音量を設定する
AI PLAY	AI PLAYを設定する (TIMER PLAYのみ有効)
PLAY SOURCE	再生する音源を選ぶ
RECORDER	録音先を選ぶ (TIMER RECのみ有効)
REC MODE	録音モードを選ぶ (TIMER RECのみ有効)

※すべての項目を設定しなくてもタイマーの設定は完了できますが、確実に動作させるために各項目をひと通り確認することをお勧めします。

[ON/OFF] タイマーが作動するまたはしないを設定する



ON/OFF
ON



※タイマーを作動させない場合は
[OFF]を選びます。

[PLAY/REC] 再生または録音を選ぶ



PLAY/REC
TIMER REC

録音する
場合 ▶



TIMER PLAY

再生する
場合 ▶



[ヨウビ セッテイ] 曜日を選ぶ

① 曜日を選びます。



ヨウビ セッテイ
EVERYDAY (毎日)

解除するまで
タイマーが動く ▶



SUNDAY (日曜日)
MONDAY (月曜日)
TUESDAY (火曜日)
WEDNESDAY (水曜日)
THURSDAY (木曜日)
FRIDAY (金曜日)
SATURDAY (土曜日)

タイマーが
1回だけ動くか、
毎週動くか
選べる ▶



手順
②へ

MON - FRI (月~金曜日)
TUE - SAT (火~土曜日)
SAT - SUN (土~日曜日)

解除するまで
タイマーが動く ▶



② 1回だけ動くか、
毎週動くかを選び
ます。



ヨウビ セッテイ
ONETIME

タイマーが
1回だけ動く ▶



EVERY WEEK

タイマーが
毎週動く ▶

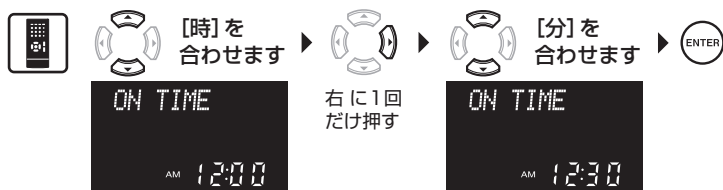


もっと
使いこなす

タイマーを使う

タイマーを使う (つづき)

[ON TIME] 開始時間を設定する



[OFF TIME] 終了時間を設定する



[ON VOLUME] 音量を設定する



※音量は0～40(最大)の間で設定できます。

※現在聞いている音量は変わりません。

※[TIMER PLAY]、[TIMER REC]それぞれ別の音量を設定できます。

[AI PLAY] AI PLAYを設定する (TIMER PLAYのみ有効)

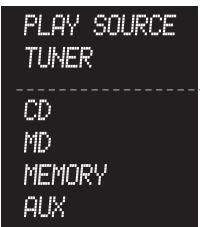


※AI PLAYを[ON]にすると設定した時間に再生が始まり、音量が[ON VOLUME]で設定したところまで徐々に大きくなります。

※[OFF]に設定すると[ON VOLUME]で設定した音量で再生が始まります。

[PLAY SOURCE] 再生する音源を選ぶ

① 音源を選びます。



放送局 (プリセット番号) を選ぶ ▶



右に1回だけ押す

手順 ②へ



※[PLAY/REC] (69ページ参照) で[TIMER REC]を選んでいる場合、[MEMORY]、[CD]、[MD]を選ぶことはできません。

② 放送局 (プリセット番号 P01 ~ P40) を選びます。



※プリセット番号については24 ~ 26ページ参照。

もっと
使いこなす

タイマーを使う (つづき)

タイマーを使う（つづき）

[RECORDER] 録音先を選ぶ（TIMER RECのみ有効）



録音先にメモリ
カードを選ぶ ▶

録音先にMDを
選ぶ ▶

[REC MODE] 録音モードを選ぶ（[RECORDER]で[MEMORY]を選んだ場合）

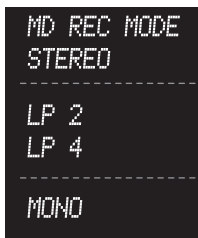
※録音モードの設定については82～89ページ参照。



[REC MODE] 録音モードを選ぶ（[RECORDER]で[MD]を選んだ場合）

※録音モードの設定については82～89ページ参照。

① 録音モードを選びます。



LP:STAMP
の設定を選ぶ ▶



右に1回
だけ押す



手順
②へ



② LP:STAMPを設定します。



※LP:STAMPについては
83ページ参照。

4 電源をOFFにする



※タイマーが設定されてスタンバイ状態になると【タイマーセット サレマシタ】と表示され、スタンバイ・タイマーインジケーターが橙色に点灯します。

※電源プラグを差し直したり停電があった場合は、【トケイセツテイ カクニン】と表示され、スタンバイ・タイマーインジケーターが橙色に点滅します。もう一度時計を合わせてください。

■タイマーを解除（OFF） / 再設定（ON）するには



TIMER



押すごとに
切り換わります。

※電源をONにしてから行ってください。



もつと
使いこなす

タイマーを使う（つづき）



この操作は本体でも行うことができます。

タイマーの内容を確認、変更したい場合や設定を間違えた場合は、設定を初めからやり直してください。

タイマーを設定した後に再生などを楽しんでも、タイマーの設定には影響ありません。

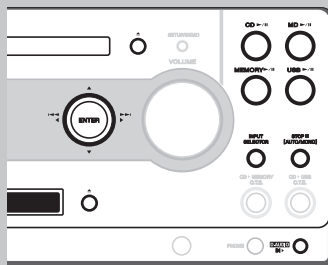
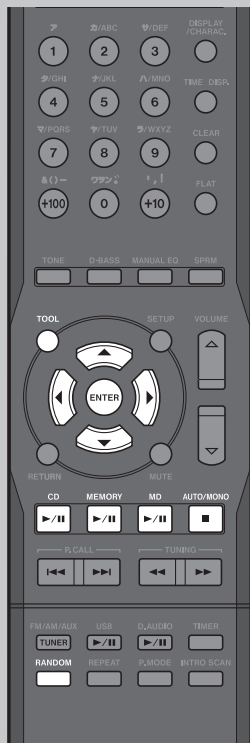
タイマー作動中に、「メモリカードからUSBオーディオプレーヤーへ転送する」(36ページ)、「曲を消す」(46ページ)、「メモリカード内のすべてのデータを消去する」(95ページ)を行うと終了時間になっても電源がOFFになりません。

TOOLからワンタッチエディット録音する

準備

⏏ 表示が点灯している場合は、RANDOMキーを押してランダム再生モードを解除してください。

※録音モードの設定を変更するには82～89ページ参照。



メモ리카ードからUSBオーディオプレーヤーへの転送

メモ리카ードからUSBオーディオプレーヤーへの録音は、曲ファイルの転送となります。曲ファイルが移動するのでメモ리카ード内からは曲ファイルがなくなります。

1 音源をメモ리카ードに切り換える



2 転送したい曲ファイルまたは、フォルダを選ぶ



※選び方は「お使いになる前に編」24ページ参照。

3 TOOLキーを押し [MEM→USB MOVE] を選び決定する



4 転送を始める



※行わない場合は [CANCEL] を選んでください。



転送に関するその他の詳細や操作については36ページ参照。
選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

CDの曲をUSBオーディオプレーヤー、メモリカード、MDに録音する

1 音源をCDに切り換える



2 CDの状態を確認する

- 再生中の場合** 再生している曲を録音します。
- 停止中の場合** CD内の全曲を録音します。
- プログラムモード停止中の場合** プログラムモードで指定した曲を録音します。

3 TOOLキーを押し [O.T.E. MODE] を選び決定する



4 録音先を選ぶ

		<p>例) USBオーディオプレーヤーに録音する場合。</p>	<p>例) メモリカードに録音する場合。</p>
		<p>例) MDに録音する場合。</p>	<p>例) メモリカードとMDに録音する場合。</p>

※ [RETURN] を選ぶと前の表示に戻ります。

5 録音を開始する



Hint 録音に関するその他の詳細や操作については28～35ページ参照。
 選択や決定などの操作は本体でも行なうことができます。

TOOLからワンタッチエディット録音する

MDの曲をメモリカードまたはUSBオーディオプレーヤーに録音する

1 音源をMDに切り換える



2 MDの状態を確認する

再生中の場合 再生している曲を録音します。

停止中の場合 MD内の全曲を録音します。

グループモード停止中の場合 グループ内の全曲を録音します。

プログラムモード停止中の場合 プログラムモードで指定した曲を録音します。

3 TOOLキーを押し [O.T.E. MODE] を選び決定する



4 録音先を選ぶ



例) USBオーディオプレーヤーに録音する場合。

例) メモリカードに録音する場合。

※ [RETURN] を選ぶと前の表示に戻ります。

5 録音を開始する



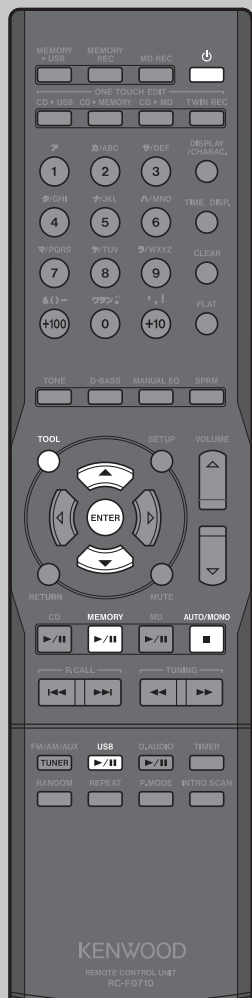
MDに曲名やアルバム名などの文字情報が入っていれば、録音するときに文字情報を一緒にコピーすることができます。(89ページ参照)

USBオーディオプレーヤーまたはメモリカード内のフォルダ数、曲ファイル数を確認する



USBオーディオプレーヤーまたはメモリカード

USBオーディオプレーヤーまたはメモリカードのKWDフォルダ内のフォルダと曲ファイルの数を確認することができます。録音やリフレッシュを行う前に併せてお使いください。



1 音源を切り換える



USB



または



2 TOOLキーを押し [USB ヨウリョウ] または [MEMORY ヨウリョウ] を選び決定する



TOOL



◦USB ヨウリョウ
REFRESH



または

◦MEMORY ヨウリョウ
REFRESH

3 現在のフォルダ数、曲ファイル数を確認する

◻ FOLDER 12/200
▶ FILE 39/1000

※USBオーディオプレーヤー選択時は **USB**、メモリカード選択時は **MEMORY** が点滅します。

※本機で扱えるのはフォルダ数200、曲ファイル数1000までです。「お使いになる前に編」24ページ参照。



ルート直下に曲ファイルがある場合は、その数も曲ファイル数に含まれます。

もっとも
使いこなす

TOOLからワンタッチエディット録音する
USBオーディオプレーヤーまたはメモリカード内の
フォルダ数、曲ファイル数を確認する

■ もとの画面表示に戻すには



TOOL



または

AUTO/MONO



STOP ■
[AUTO/MONO]



リフレッシュ機能で
フォルダを整理する P78

曲をもっと録り貯めるには
(メモリカードの交換) P79

リフレッシュ機能でフォルダを整理する

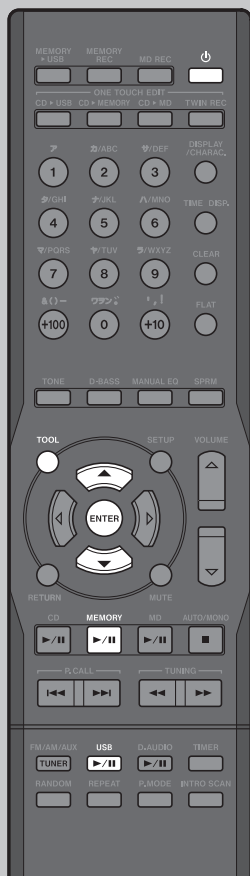


USBオーディオプレーヤーまたはメモ리카ード

リフレッシュを行うとUSBオーディオプレーヤーやメモ리카ードの飛び飛びになっているフォルダ名(AL_XXX)を整理し連番で番号を付け直します。

準備

USBオーディオプレーヤー、メモ리카ードが停止しているか確認してください。



1 音源を切り換える



USB または

MEMORY



2 TOOLキーを押し[REFRESH]を選び決定する



MEMORY 307107
REFRESH

3 [OK]を選び決定する



REFRESH
OK



※行わない場合は
[CANCEL]を選んでください。

■ リフレッシュが終了すると

フォルダの番号が自動で新たに付け直されます。



選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

曲をもっと録り貯めるには(メモ리카ードの交換)

準備

メモ리카ードの交換はスタンバイ状態時に行ってください。

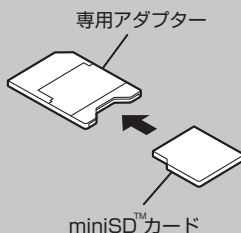
※32MB～2GBまでのSDメモ리카ードが使用できます。SDHC(4GB以上)は使えません。使用可能なメモ리카ードの情報は当社ホームページをご覧ください。

http://www.kenwood.co.jp/faq/uda77_55/

※記録前に、本機で初期化することをお勧めします。(95ページ参照)

SDメモ리카ードまたはminiSDTMカードが使えます。

※miniSDTMカードの場合は専用アダプターが必要です。



パソコンと併せてもっと便利にお使いいただけます。

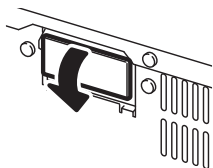
■パソコンで録り貯めた曲ファイルを移動する。

■パソコンを使ってメモ리카ード内の曲を整理する。

詳しくは

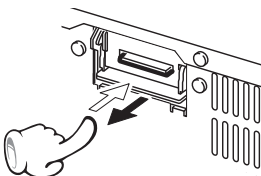
http://www.kenwood.co.jp/faq/uda77_55/

1 メモ리카ードスロットのふたを開ける



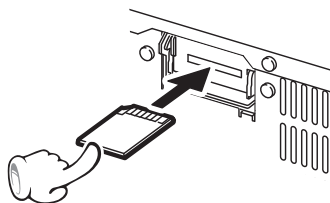
※録音中は絶対にメモ리카ード挿入部のふたを開けないでください。録音が停止し正常に録音が行えません。

2 メモ리카ードを取り出す



メモ리카ードを一度軽く押し込んでください。

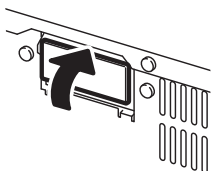
3 交換用のメモ리카ードを入れる



ラベル面を下にして、カットされた部分が左になるように入れます。

※奥までしっかり入れてください。

4 メモ리카ードスロットのふたを閉める



※ふたが開いたままだと再生や録音が行えません。






もっと
使いこなす

リフレッシュ機能でフォルダを整理する曲をもっと録り貯めるには(メモ리카ードの交換)

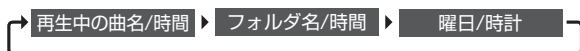
ディスプレイ表示切り換え

※表示できる時間は9999分59秒までです。それを越えると「----:--」と表示されます。



音源	ボタン	録音中のディスプレイ表示
 USB	DISPLAY /CHARAC. ○	録音もとの音源表示 → USBオーディオプレーヤー / メモリカード 録音表示
 MEMORY	TIME DISP. ○	USBオーディオプレーヤー / メモリカード録音残量時間 REC REMAIN 点灯 ※メモリカードからUSBオーディオプレーヤーへの転送中は、時間表示されません。
 CD	DISPLAY /CHARAC. ○	
	TIME DISP. ○	
 MD	DISPLAY /CHARAC. ○	録音もとの音源表示 → MD REC表示
	TIME DISP. ○	MD録音残量時間 → 再生中の曲の経過時間 REC REMAIN 点灯
 TUNER	DISPLAY /CHARAC. ○	

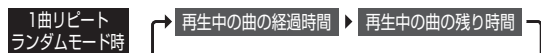
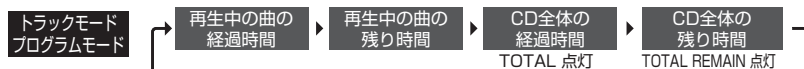
再生中のディスプレイ表示



※音源にD.AUDIOが選ばれている場合は、曜日と時計が表示されません。



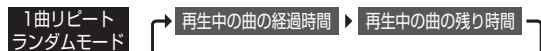
※停止中の場合はディスクの名前が代わりに表示されます。



※停止中の場合はディスクの名前が代わりに表示されます。



※停止中の場合はグループの名前が代わりに表示されます。



もっと
使いこなす

ディスプレイ表示切り換え

録音の設定をする



本機には多彩な録音機能がありますが、それぞれの録音について詳細な機能を設定することができます。

より使いやすく、お好みに合わせて、各項目を設定することをお勧めします。

準備

SETUPキーを押し[REC SETUP]を選んでおきます。



SETUP



SYSTEM SETUP
◦ REC SETUP



録音モードを設定する (REC MODE)

USBオーディオプレーヤー、メモ리카ード、MDに録音する場合は、音質や録音できる長さを設定することができます。

1 [REC MODE] を選び決定する



◦ REC MODE
O.T.E. SPEED



※ [RETURN] を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 設定したい録音先を選び決定する



MD
◦ MEMORY/USB



MEMORY/USBを選んだ場合

※ HQ、SQ が点滅します。

MDを選んだ場合

※ LP 2 4、MONO が点滅します。



この操作は本体でも行うことができます。

3 録音モードを選ぶ



MEMORY/USBを選んでいる場合

MEMORY/USB SQ	標準的な音質で録音します。HQに比べて、録音可能時間が長くなります。 ビットレート：128kbps
HQ	高音質で録音します。SQに比べて、録音可能時間が短くなります。 ビットレート：192kbps

MDを選んでいる場合

MD REC MODE STEREO	ステレオで録音します。録音可能時間はディスクに表記されている時間になります。音質を重視する録音をする場合は、「STEREO」をお勧めします。
LP2	音声はステレオのまま、録音可能時間はディスクに表記されている時間の約2倍になります。(ステレオ2倍長時間録音) 音質は「STEREO」より若干劣ります。
LP4	音声はステレオのまま、録音可能時間はディスクに表記されている時間の約4倍になります。(ステレオ4倍長時間録音) 音質は「LP2」より若干劣ります。
MONO	モノラルで録音します。録音可能時間はディスクに表記されている時間の約2倍になります。



録音の
設定を
おこなう

録音モードを設定する (REC MODE)

4 確定する



5 LP: STAMPを設定する



※手順3でLP2またはLP4を選んだ場合のみ設定します。

※「LP:」を付けない場合は [OFF] を選びます。

■ LP: STAMP機能とは

MDに録音するとき、LP2またはLP4で録音された曲のタイトルの頭に「LP:」を自動で付ける機能です。本機ではこの機能のON（「LP:」を付ける）とOFF（「LP:」を付けない）を設定することができます。「LP:」はMDLPに対応していない機器でLP2またはLP4で録音した曲を再生しているときだけタイトルとして表示されます。（本機はMDLP対応なので表示されません）「LP:」もタイトルの文字数に含まれるため、タイトルの編集ができない場合もあります。

MDの曲を
録音する

P38

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を録音する

P38-
P41

メモリーカードの
曲を録音する

P40

ラジオ（FMまたはAM）を録音する

P42-
P45

外部入力（AUX）から録音する

P42-
P45

録音の設定をする（つづき）

録音スピードを設定する（O.T.E. SPEED）

USBオーディオプレーヤー、メモ리카ード、MDに録音する場合の録音スピードを設定することができます。

※SETUPキーを押し[REC SETUP]を選択しておいてください。（82ページ参照）

1 [O.T.E. SPEED] を選び決定する



※ HIGH が点滅します。

※ [RETURN] を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 録音スピードを選び確定する



※ [HIGH] を選ぶと、4倍速録音になります。



この操作は本体でも行うことができます。

HIGH SPEEDで録音している場合、音は出ません。

録音入力をANALOGに設定してある場合に[HIGH]を選ぶと、録音入力かDIGITALに切り換わります。（下記参照）

転送速度が低いメモ리카ードを使った場合、HIGH SPEED録音ができないことがあります。その場合は[NORMAL]を選んでください。

録音入力を設定する（REC INPUT）

CDをUSBオーディオプレーヤー、メモ리카ード、MDに録音する場合、デジタル入力にするかアナログ入力にするかを設定することができます。

※SETUPキーを押し[REC SETUP]を選択しておいてください。（82ページ参照）

1 [REC INPUT] を選び決定する



※ DIGITAL、ANALOG が点滅します。

※ [RETURN] を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 録音入力を選び確定する



※録音入力をDIGITALに設定しても、録音もとの音源がアナログの場合はアナログ録音になります。



この操作は本体でも行うことができます。

録音入力のANALOG設定は、電源をOFFにすると解除されます。（通常、録音入力はDIGITALです）録音スピードをHIGHに設定してある場合に[ANALOG]を選ぶと、録音スピードがNORMALに切り換わります。（上記参照）

録音レベルを調整する (REC LEVEL)

メモ리카ードやD.AUDIO 出力端子に接続した機器、MDに録音した音が歪む、または小さいと感じた場合は、録音レベルを調整してください。

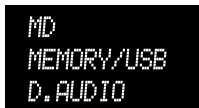
※SETUPキーを押し [REC SETUP] を選択しておいてください。(82ページ参照)

1 [REC LEVEL] を選び決定する



※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 設定したい録音先を選び決定する



※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

3 録音レベルを調整する



例) [MEMORY/USB] を選んだ場合。



例) [D.AUDIO] を選んだ場合。

MEMORY/USBまたはMDの場合

-2 ~ +2の範囲で調整できます。

D.AUDIOの場合

HIGHまたはLOWを選びます。

※D.AUDIO 出力端子にケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーを接続する場合は、それぞれの機器に最適な録音レベルを選びます。

M1GB5、 M512B5を 接続した場合	本機 : HIGH M1GB5 M512B5	} 調整なし
M2GC7、 M1GC7を 接続した場合	本機 : HIGH M2GC7 M1GC7	

4 確定する



この操作は本体でも行うことができます。

録音の
設定を
おこな

録音スピードを設定する (O.T.F. SPEED)
録音入力を設定する (REC INPUT)
録音レベルを調整する (REC LEVEL)

録音の設定をする（つづき）

トラックマークの付け方を設定する（TRACK MARK）

メモリーカードやMDにラジオやD.AUDIO IN端子やAUX入力端子に接続した機器の音を録音している場合は、トラックマークを自動または手動で付けるかを設定します。

本機ではトラックマークからトラックマークの間を曲と見なします。

※SETUPキーを押し[REC SETUP]を選択しておいてください。（82ページ参照）

1 [TRACK MARK] を選び決定する



※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 自動または手動にするかを選び決定する



または



AUTO（トラックマークを自動で付ける）を選んだ場合

AUTO（自動で付ける）を選んだ場合は、トラックマークを何分ごとに付けるか（AUTO MARK）を設定できます。（87ページ参照）

※CD、メモリーカード、MDから録音している場合は、設定に関わらず、曲ごとに自動でトラックマークが付きます。

※ラジオを録音している場合は、AUTO MARKで設定した間隔でトラックマークが付きます。

※D.AUDIO IN端子やAUX入力端子に接続した機器の音を録音している場合は、無音状態が2秒以上続くと、その箇所にトラックマークが付きます。

MANUAL（トラックマークを手動で付ける）を選んだ場合



録音中にトラックマークを付けたいところでENTERキーを押してください。



この操作は本体でも行うことができます。

設定により無音状態が2秒以上続くと、その箇所にトラックマークが自動で付きますが、音源からのノイズなどによって、トラックマークが付かない場合もあります。

トラックマークによってできた曲は録音終了後に編集できます。（MDのみ 48ページ～参照）

トラックマークの間隔を設定する (AUTO MARK)

ラジオを録音しているときトラックマークを自動で付ける場合は、何分ごとに付けるか設定できます。

トラックマークを自動で付ける設定にしておいてください。(86ページ参照)

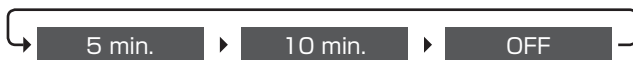
※SETUPキーを押し [REC SETUP] を選択しておいてください。(82ページ参照)

1 [AUTO MARK] を選び決定する



※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 間隔を設定する



5 min.

10 min.

OFF

5分間隔でトラックマークを付けます。

10分間隔でトラックマークを付けます。

無音状態が2秒以上続くとその箇所にはトラックマークを付けます。

3 確定する



この操作は本体でも行うことができます。

設定により無音状態が2秒以上続くと、その箇所にはトラックマークが自動で付きますが、音源からのノイズなどによって、トラックマークが付かない場合もあります。

録音の設定

トラックマークの付け方を設定する (TRACK MARK) の間隔を設定する (AUTO MARK)

録音の設定をする（つづき）

グループ登録するか設定する（GROUP MAKE）

MDに録音した曲をひとつのグループとして自動で登録するか設定できます。

※SETUPキーを押し[REC SETUP]を選択しておいてください。（82ページ参照）

1 [GROUP MAKE] を選び決定する



※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 [ON] または [OFF] を選ぶ



録音した曲を
グループ登録します。

録音した曲を
グループ登録しません。

3 確定する



この操作は本体でも行うことができます。

登録されたグループは、録音終了後に編集できます。（62ページ～参照）

録音時に曲名などをコピーするか設定する (TEXT COPY)

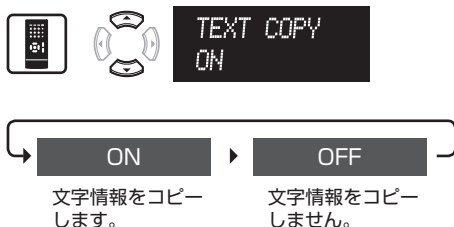
USBオーディオプレーヤー、メモリカード、MDにCD-TEXT対応のディスクを録音する場合に、曲名やアルバム名などの文字情報を一緒にコピーするかを設定します。(ワンタッチエディット録音のみ 28～35ページ参照)

※SETUPキーを押し [REC SETUP] を選択しておいてください。(82ページ参照)

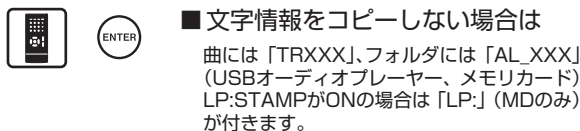
1 [TEXT COPY] を選び決定する



2 [ON] または [OFF] を選ぶ



3 確定する



この操作は本体でも行うことができます。

USBオーディオプレーヤー、メモリカードにMDを録音する場合に、曲名やアルバム名などの文字情報が入っていれば一緒にコピーできます。(ワンタッチエディット録音のみ 76ページ参照)

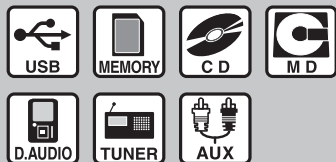
メモリカードにラジオを録音する場合に、放送局がオートプリセットされていて放送局名が記憶されていると、放送局名がフォルダ名としてコピーされます。放送局名が記憶されていない場合は、周波数がフォルダ名としてコピーされます。(24ページ参照)

文字情報は録音終了後に編集できます。(58、60ページ参照)

録音の
設定

グループ登録するか設定する (GROUP MAKE) (TEXT COPY)

音質の設定をする



音源によっては効果が分かりにくいことがあります。

準備

SETUPキーを押し
[SOUND SETUP] を選んでおきます。



SETUP



REC SETUP
◦ SOUND SETUP



低音を強調する (D-BASS)

1 [D-BASS] を選び決定する



◦ D-BASS
TONE

ENTER

※ D-BASS が点灯します。
※ [RETURN] を選ぶと、
前の表示に戻ります。

2 お好みのレベルに調整する



D-BASS ON
■■■■■ 4

1 ~ 10の範囲で1ずつ
調整できます。

3 確定する



ENTER

※ 調整前にD-BASS機能が
OFFだった場合は、設定後
ONになります。



この操作は本体でも行うことができます。

低音と高音を調整する (TONE)

1 [TONE] を選び決定する



※ TONE が点灯します。
※ [RETURN] を選ぶと、
前の表示に戻ります。

2 お好みのレベルに調整する



3 確定する



※ 調整前にTONE機能が
OFFだった場合は、設定
後ONになります。

音質の
設定をする

低音を強調する (D-BASS)
低音と高音を調整する (TONE)



この操作は本体でも行うことができます。

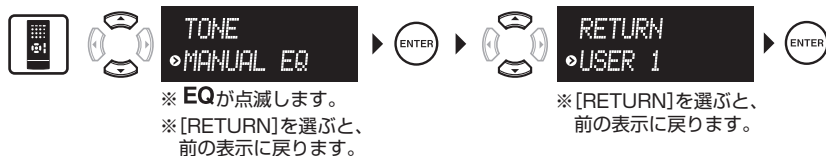
音質の設定をする (つづき)

好みの音質を登録する (MANUAL EQ)

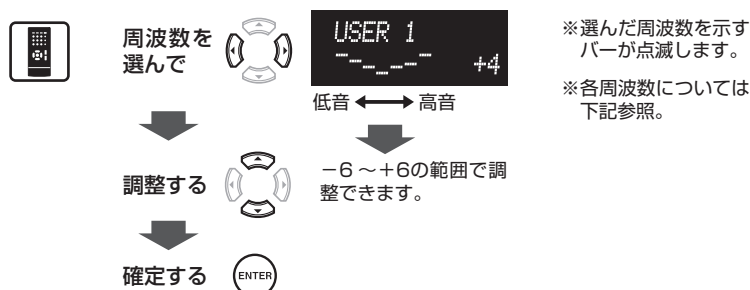
本機搭載の本格的な7バンドのイコライザーで、重低音域から超高音域まで調整して、好みの音質になるような音域のカーブを作ることができ、3種類 (USER 1 ~ 3) まで登録できます。

※SETUPキーを押し[SOUND SETUP]を選択しておいてください。(90ページ参照)

1 [MANUAL EQ] を選び、[USER 1 ~ 3] を選ぶ



2 お好みのレベルに調整し、確定する



重低音域の調整 (63Hz)	このレベルを上昇させると、ベースやバスドラムのような低音域の楽器がどっしりとした安定感のある音として再生されます。また、重低音域が響きすぎると感じられる場合は、適当と思われる所まで下降させます。
低音域の調整 (160Hz)	日本の建築様式では欧米の家屋に比べ密閉度が低いため、リスニングルームの共振点がこの周波数帯にあり、低音が出過ぎる感じになりやすいものです。従って、リスニングルームの共振を防ぐためにこの低音域を下降させることが多いようです。
中低音域の調整 (400Hz)	音楽の基礎となるこの音域の音は、やせているとか、豊かだと感じられる所です。もの足りない音だと思われる場合は、このレベルをわずかに上昇させると、豊かな感じの音になります。
中音域の調整 (1kHz)	この中音域を調整すると、ボーカルが入っている曲では歌手の声が前に出たり、奥に引込むような感じになり、臨場感に影響を与えます。音の奥行きと深みに関係する帯域です。
中高音域の調整 (2.5kHz)	この周波数帯域は、刺激の強い、金属的で硬い音として感じられる所です。うまく調整すれば、爽快感や明るさが出てきますが、反面うるさい感じになることもあります。
高音域の調整 (6.3kHz)	この周波数帯域は、硬い感じ、柔らかい感じなど、音楽のイメージに影響を与える所です。上昇させると弦楽器 (バイオリンなど) や、管楽器 (フルート、ピッコロなど) が張りのある音になり、下降させるとおとなしい感じの音になります。
超高音域の調整 (16kHz)	この周波数帯域は、音の広がりや繊細感に影響を与えるところです。上昇させると超高音域の楽器 (トライアングル、シンバルなど) が快く響き、音の広がりや繊細感が増します。



この操作は本体でも行うことができます。

より原音に近い音で楽しむ (SUPREME)

USBオーディオプレーヤー、メモリカードのみ。

※SETUPキーを押し [SOUND SETUP] を選択しておいてください。(90ページ参照)

1 [SPRM] を選び決定する



※ **SPRM** が点滅します。

※ [RETURN] を選ぶと、
前の画面に戻ります。

2 [ON] または [OFF] を選び確定する



スピーカーの左右バランスを変更する (BALANCE)

※SETUPキーを押し [SOUND SETUP] を選択しておいてください。(90ページ参照)

1 [BALANCE] を選び決定する



※ [RETURN] を選ぶと、
前の表示に戻ります。

2 バランスを調整し、確定する



この操作は本体でも行うことができます。

音質の
設定をする

お好みの音質を登録する (MANUAL EQ)
より原音に近い音で楽しむ (SUPREME)
スピーカーの左右バランスを変更する (BALANCE)

ディスプレイの明るさを調整する (DIMMER SET) メモ리카ード内のすべてのデータを消去する (MEMORY FORMAT)

DIMMER SETはディスプレイの明るさを3段階で調整できます。お好みやお部屋の状態によって調整してください。

MEMORY FORMATは本機で録音、作成したフォルダや曲ファイルだけでなく、メモ리카ード内のすべてのデータを消去します。

※消去したデータをもとに戻すことはできません。ご注意ください。

準備

メモ리카ード内のすべてのデータを消去する (MEMORY FORMAT) 場合は、音源をメモ리카ードに切り換えておきます。

SETUPキーを押し [SYSTEM SETUP] を選んでおきます。



SETUP



◦SYSTEM SETUP
REC SETUP



ディスプレイの明るさを調整する (DIMMER SET)

1 [DIMMER SET] を選ぶ



SLEEP
◦DIMMER SET



※ [RETURN] を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 明るさを調整する



DIMMER SET
DIMMER 1

DIMMER 1

ディスプレイの明るさが下がります。

DIMMER 2

ディスプレイの明るさが下がったまま LED が消灯します。

DIMMER OFF

ディスプレイ、LED ともにもと通り点灯します。

DIMMER 3

LED が消灯したままディスプレイの明るさがもとに戻ります。

3 確定する



※ 確定後、もとの表示に戻ります。



この操作は本体でも行うことができます。

メモ리카ード内のすべてのデータを消去する (MEMORY FORMAT)

1 [MEMORY FORMAT] を選ぶ



MEMORY FORMAT
A.P.S.



※ [RETURN] を選ぶと、
前の表示に戻ります。

2 実行するかを選ぶ



MEMORY FORMAT
FORMAT READY



※ [CANCEL] を選ぶと、
前の表示に戻ります。

3 実行するかを確認する



MEMORY FORMAT
FORMAT OK?

※ 消去したデータをもとに戻すこ
とはできないので、本当に消去
するかどうか再度確認します。

※ [CANCEL] を選ぶと、前の表
示に戻ります。

4 確定する



MEMORY FORMAT
MEMORY CARDヲ

※ [MEMORY CARDヲ ヌカナイデク
ダサイ] とスクロール表示されます。

ご注意

データの消去中は、絶対にメモ
リカードを抜かないでください。
故障の原因となります。

■ 消去が終了すると

MEMORY FORMAT
COMPLETE

[COMPLETE] と
表示されます。

※ 終了後は手順1の表
示に戻ります。



この操作は本体でも行うことができます。

本機でMEMORY FORMATしたメモ리카ードは、他の機器で使えないことがあります。
メモ리카ードの種類によっては、MEMORY FORMATに時間がかかる場合があります。

オートパワーセーブ機能を設定する (A.P.S.) 時計を合わせる (TIME ADJUST)

A.P.S.とはAuto Power Save (オートパワーセーブ) の略で、電源がONでCD、MDが停止状態のまま30分以上何も操作しなかった場合、自動的に電源がOFFになる機能です。

準備

SETUPキーを押し
[SYSTEM SETUP]を選んでおきます。



SETUP



◦SYSTEM SETUP
REC SETUP



オートパワーセーブ機能を設定する (A.P.S.)

1 [A.P.S.]を選ぶ



MEMORY FORMAT
◦A.P.S.



※ A.P.S. が点滅します。

2 [ON] または [OFF] を選ぶ



A.P.S.
ON

※ A.P.S. が点滅します。

3 確定する



※ONの場合は A.P.S.
が点灯します。

時計を合わせる (TIME ADJUST)

1 [TIME ADJUST] を選ぶ



※[RETURN]を選ぶと、
前の表示に戻ります。

2 曜日、時、分を合わせる

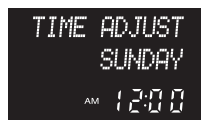
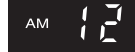
※選ばれている項目が点滅します。



項目を選んで



合わせます



※昼の12:00は [PM12:00]、
夜の12:00は [AM12:00] と
表示されます。

3 確定する



この操作は本体でも行うことができます。

電源プラグを差し直したり停電があった場合は、もう一度時計を合わせてください。
時計の精度には若干の誤差がありますので、定期的に時計を合わせることをお勧めします。

■ 電源がOFF (スタンバイ状態) のとき時刻を表示させるには



AUTO/MONO



STOP ■
[AUTO/MONO]



※5秒間表示
されます。

関連機能

おやすみタイマーを設定する (SLEEP)

P67

タイマーを使う P68-P73

本機の
設定を
みる

オートパワーセーブ機能を設定する(A.P.S.)
時計を合わせる(TIME ADJUST)

メッセージ表示一覧

ディスプレイ表示	意味
BLANK DISC	● MDに何も録音されていない。
BUFFER OVER	● 74分以内に200曲以上のCDをMDへHIGH SPEED録音しようとしている。
CAN'T EDIT	● 長さが短すぎる曲などを編集しようとしている。 ● プログラムモード、グループモードのときに編集しようとしている。
CAN'T REC	● UTOC* の内容が異常である。 →「ERASE ALL」を行う。それができない場合は、MDを取り換える。
CHECK DISC	● TOC* 情報を読むことができない。 ● ディスクが正しく挿入されていない。
DISC FULL	● 録音可能なエリアがないか、256曲目を録音しようとしている。 →録音用のMDを入れ換える。一枚のMDには256曲以上録音できない。
Lock サレテイマス	● メモリカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっている。
MD WAIT 74min	● 74分以内に同じCDまたは曲をHIGH SPEED録音しようとしている。 →NORMAL SPEEDで録音する。
MD WRITING	● 編集や録音したときの各種の情報を書き込んでいる。
MEMORYヲカクニン ヨウリョウガリアマセン	● 録音開始時、メモリカードに録音可能な空き容量がない ● フォルダ数が200、またはファイル数が1000に達している。
NO TRACKS	● 曲は録音されていないが、MDタイトルが書かれている。
Normal Speed ニ キリカエテクダサイ	● メモリカードの仕様によっては、メモリカードへの書き込みが追いつかない。
PGM FULL	● CDまたはMDのプログラムで33曲目を選択しようとしている。 プログラムできるのは32曲まで。
PLAY ONLY	● 再生専用のMDに録音しようとしている。→録音用のMDを入れる。
PROTECTED	● MDが「録音禁止」されている。「録音可能」にする。
RANDOM MODE	● ランダム再生のときに O.T.E 録音をしようとしている。 →ランダム再生を解除する。
READING	● TOC* 情報を読み込んでいる。
SAME TNO.	● 同じ曲を2回以上プログラムしてHIGH SPEED録音しようとしている。 →NORMAL SPEEDで録音する。
SCMS	● SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。→デジタル録音はできないので、アナログ録音に切り換える。
TEXT FULL	● 1536バイト以上のテキスト情報があるCD-TEXTのテキスト情報を表示しようとしている。

* CDとMDには音声信号以外にTOC (Table of Contents) という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。TOC 以外に録音用MDに特有な情報をUTOCと呼びます。このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

ディスプレイ表示	意味
TITLE FULL	<ul style="list-style-type: none"> ● MDの最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。 →入力できる文字数は、全体で1792文字、1曲につき80文字 (「LP:」も含む) まで。 ● USBオーディオプレーヤーまたはメモ리카ードの最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。 →入力できる文字数はフォルダ、曲ファイルにつきそれぞれ28文字まで。
USB ヲカクニン ヨウリョウガアリマセン	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音開始時、USBオーディオプレーヤーに録音可能な空き容量がない。 ● フォルダ数が200、またはファイル数が1000に達している。
UTOO ERROR	<ul style="list-style-type: none"> ● UTOO*の内容が異常である。 →「ERASE ALL」を行う。それができない場合は、MDを取り換える。
カード ガ アリマセン	<ul style="list-style-type: none"> ● メモ리카ードが入っていない。 ● メモ리카ードが正しく挿入されていない。
サイセイ デキマセン	<ul style="list-style-type: none"> ● 著作権保護付きのファイルを再生しようとしている。
セツゾク カクニンチュウ	<ul style="list-style-type: none"> ● USBオーディオプレーヤーが正しく接続されていない。 ● USBオーディオプレーヤーとの接続を確立中。
セクター ヲカクニン MEMORY ヘキリカエ	<ul style="list-style-type: none"> ● 音源がMEMORY以外の場合にMEMORY FORMATをしようとしている。 →音源をMEMORYに切り換える。
テンソウ エラー USB ヲカクニン	<ul style="list-style-type: none"> ● USBオーディオプレーヤーに録音可能な空き容量がない。 →不要な曲ファイルを消す。
ファイルガ アリマセン	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機で再生できるファイル (MP3、WMA) がない。
ヘンシュウ エラー	<ul style="list-style-type: none"> ● 曲ファイル以外のファイルが入っている可能性がある。 →パソコンと合わせてUSBオーディオプレーヤー、メモ리카ードを確認する。
ヨミコミ デキマセン	<ul style="list-style-type: none"> ● TOC*情報を読むことができない。
リフレッシュシテクダサイ	<ul style="list-style-type: none"> ● フォルダ名がAL_Z90番台になっている。 →リフレッシュを行いフォルダ名を整理する。
ロクオン テイシ ヨウリョウガアリマセン	<ul style="list-style-type: none"> ● メモ리카ードに録音可能な空き容量がない。 →不要な曲ファイルを消す。消したくない場合は、録音用のメモ리카ードを入れ換える。 ● USBオーディオプレーヤーに録音可能な空き容量がない。 →不要な曲ファイルを消す。 ● 録音中、作業領域が必要となるため、この表示が出た後も録音可能な空き容量がある場合がある。
「？」の点滅	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定や編集を実行してもよろしいですか？ という確認のためのメッセージ。

故障かな？と思ったら

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

アンプ部・スピーカー部

症状	処置	参照ページ
音が出ない	<ul style="list-style-type: none">● 「接続のしかた」を参照し、正しく接続し直す。● 音量を上げる。● ミュートを解除する。● ヘッドホンが差し込まれている場合はプラグを抜く。	「お使いになる前に編」 12 「お使いになる前に編」 28 「お使いになる前に編」 28 「お使いになる前に編」 14
スタンバイ・タイマーインジケータの表示が赤点滅し、音が出ない	<ul style="list-style-type: none">● 使用を中止する。内部的な不具合が発生したことが考えられます。電源を切り、電源プラグを抜いて修理をご依頼ください。	——
スタンバイ・タイマーインジケータの表示が橙色に点滅する	<ul style="list-style-type: none">● 現在時刻をもう一度合わせる。● タイマーの開始時刻と終了時刻を設定する。	97 70
ヘッドホンから音が出ない	<ul style="list-style-type: none">● ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。● 音量を上げる。	「お使いになる前に編」 14 「お使いになる前に編」 28
スピーカーの片側から音が出ない	<ul style="list-style-type: none">● 「接続のしかた」を参照し、正しく接続し直す。● スピーカーの左右バランスを調整する。	「お使いになる前に編」 12 93
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している	<ul style="list-style-type: none">● 「時刻を合わせる」を参照し、時刻を合わせる。	97
タイマーが作動しない	<ul style="list-style-type: none">● 「時刻を合わせる」を参照し、時刻を合わせる。● タイマーの開始時刻と終了時刻を設定する。	97 70

チューナー部

症状	処置	参照ページ
放送局が受信できない	<ul style="list-style-type: none">● アンテナを接続する。● 放送バンドを合わせる。● 受信したい放送局の周波数に合わせる。	「お使いになる前に編」 12 22 22
雑音が入る	<ul style="list-style-type: none">● 外部アンテナを道路から離して設置する。● 電気器具の電源を切ってみる。● テレビから離す。	——
オートプリセット後、P.CALLキーを押しても受信できない	<ul style="list-style-type: none">● もう一度オートプリセットする。● 受信できる周波数の放送局をマニュアルプリセットする。	24 26

メモ리카ード部

症状	処置	参照ページ
メモ리카ードを入れても音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● メモ리카ードを正しく入れる。 ● 曲ファイルが入っているメモ리카ードを入れる。 	79
録音が途中で止まる	<ul style="list-style-type: none"> ● メモ리카ードに録音可能な空き容量がない。不要な曲を消す。消したくない場合は、録音用のメモ리카ードを入れ替える。 	46
録音または編集ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● 書き込み禁止スイッチをもとに戻すか、録音可能なメモ리카ードに取り換える。 ● 録音したい音源に切り換える。 	—
録音後、一部のフォルダが見えなくなる	<ul style="list-style-type: none"> ● フォルダ数が200に達しているので、不要なフォルダを消す。 	「お使いになる前に編」23
フォルダを削除できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 曲ファイル以外のファイルが入っている可能性があります。パソコンと合わせてメモ리카ードをご確認ください。 	—
メモ리카ード内のすべてのフォルダ、ファイルが見えない	<ul style="list-style-type: none"> ● メモ리카ードのデータが破損、または本機で認識できないファイルが入っている可能性があります。 	—




USB部

症状	処置	参照ページ
USBオーディオプレーヤーを接続しても音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● USBケーブルを正しく接続する。 ● USBオーディオプレーヤーの電源が入っているか確認する。 	「お使いになる前に編」14
フォルダを削除できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 曲ファイル以外のファイルが入っている可能性があります。パソコンと合わせてUSBオーディオプレーヤーをご確認ください。 	—


困ったときは

故障かな？と思ったら

CD部

症状	処置	参照ページ
CDを入れても再生できない	<ul style="list-style-type: none">● レーベル面を上にして、正しく入れる。● 「CDディスクの保管とお手入れ」を参照し、ディスクを清掃する。● 「結露にご注意」を参照し、露を蒸発させる。	8 「お使いになる前に編」30 「お使いになる前に編」30
音が出ない	<ul style="list-style-type: none">● CD  キーを押す。● 「CDディスクの保管とお手入れ」を参照し、ディスクを清掃する。	8 「お使いになる前に編」30
音とびがする	<ul style="list-style-type: none">● 「CDディスクの保管とお手入れ」を参照し、ディスクを清掃する。	「お使いになる前に編」30
CD  キーを押しても [LOCKED] と表示され、ディスクが出てこない	<ul style="list-style-type: none">● 電源プラグをコンセントから抜き、 キーを押しながら差し込み直す。	104

MD部

症状	処置	参照ページ
再生キーを押しても音が出ない	<ul style="list-style-type: none">● 録音済MDまたは再生用MDを入れる。	—
録音ができない	<ul style="list-style-type: none">● 誤消去防止つまみをふさぐか、録音可能なMDに取り換える。● 録音したい音源に切り換える。● SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。 アナログ録音に切り換える。	「お使いになる前に編」22 84
録音レベルが低い	<ul style="list-style-type: none">● インプット（録音）レベルを調整する。	66
録音後音がひずむ	<ul style="list-style-type: none">● インプット（録音）レベルを調整する。	66
MDが入らない	<ul style="list-style-type: none">● MD  キーを押す。 再度MDを入れ直す。	—

MD部（MD規格上の症状）

症状	処置	参照ページ
MDを入れても録音できない	● 256曲以上（トラック番号256以上）は録音できません。（トラック番号256未満でも録音できないことがあります。）このとき、表示部の録音残量時間表示は [0:00] になります。	—
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない	● MD全体の残り時間が12秒未満の場合は、表示部の録音残量時間表示は [0:00] になります。消去された曲の合計時間が12秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。*1 ● 編集を繰り返したMDの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。	—
曲をつなぐことができない	● 編集処理の結果としてできた曲は、つなげない場合があります。 ● 異なる録音モードの曲同士はつなげません。*2 ● 他のNet MD対応機器でパソコンからチェックアウトされた曲と通常に録音した曲は、つなぐことができません。	—
録音済みの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間（60分、74分、80分）と一致しない	● 2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。*3	—
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる	● さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。	—
トラック（曲）番号が正しく付かない	● 録音した音源（CDほか）の内容によっては、短い曲ができることがあります。	—
[READING]が表示される時間が異常に長い	● 新品の録音用MD（全く録音されていないもの）を入れた場合、通常よりも長い間[READING]が表示されます。	—
モノラル録音されたMDのとき、時間表示が不正確になる	● モノラル録音とステレオ録音が、それぞれ異なるフォーマットで行われるため、故障ではありません。	—
タイトルが1792文字入らない	● タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。	—

*1 録音モードがSTEREOモードの場合（LP2/MONOモードの場合：24秒 LP4モードの場合：48秒）

*2 STEREO（ステレオ録音）モード、LP2（ステレオ2倍長時間録音）モード、LP4（ステレオ4倍長時間録音）モード、MONO（モノラル録音）モード

*3 録音モードがSTEREOモードの場合（LP2/MONOモードの場合：4秒 LP4モードの場合：8秒）

困った
ときは

故障かな？と思ったら

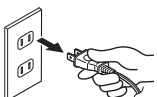


D.AUDIO IN端子に接続した機器

症状	処置	参照ページ
ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーがリモコン/本体で操作できない	<ul style="list-style-type: none">● 別売の専用ケーブル PNC-150で接続する。● 非対応モデルを接続している。	「お使いになる前に編」14 11

リモコン部

症状	処置	参照ページ
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none">● 新しい電池に入れ換える。● 操作範囲内で操作する。	「お使いになる前に編」19 「お使いになる前に編」19

マイコンをリセットするには

症状	処置
マイコンが誤動作（操作できない、表示部の誤表示など）する	<ul style="list-style-type: none">● 電源がONのときの接続コードの抜き差しや、外部からの要因により、誤動作することがあります。次の手順に従い、マイコンをリセットしてください。 <ol style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントから抜きます。 再度本体のPOWERキーを押しながら、電源プラグを差し込み直します。 マイコンをリセットすると左記のディスプレイが表示されます。 ※リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、お買い上げ時の状態となります。ご了承ください。

用語集

用語	意味	ページ
CD-DA	音楽CDのこと。一般的に「CD」といえば、ほとんどの場合、CD-DAを指す。	「お使いになる前に編」 20
CD-TEXT	ディスク名、アーティスト名、曲名等の文字情報が記録された音楽CDの呼称。	8
Hi MD	これまでのMDと再生の互換性があり、録音時間を最大45時間まで拡張したものの。本機では対応していません。	「お使いになる前に編」 20
MD-Clip	これまでのMDに静止画像を記録できるようにした規格の呼称。	「お使いになる前に編」 20
MP3	独Fraunhofer IISが開発した音声圧縮方式のひとつで、人間の聞き取りにくい部分のデータを間引くことによって高い圧縮率を得ることができ、音楽CD並みの音質を保ったまま約1/11(128kbps)に圧縮することができる。	「お使いになる前に編」 21
Net MD	パソコン上の音楽データをUSB経由でMDに転送する規格。	53
SDHC	4GB以上の容量を持つSDメモ리카ードの上位規格。本機では対応していません。	「お使いになる前に編」 20
USBハブ	複数のUSB機器を同時に接続するためのアダプター。	「お使いになる前に編」 21
USBマストレージクラス	パソコンにUSB機器を接続するための規格。またパソコンに接続したUSB機器が、パソコン側から外部記憶装置として認識されること。	「お使いになる前に編」 14、21
VBR (可変ビットレート)	音楽の情報量に合わせて、ビットレートを変化させて割り当てる方式。	「お使いになる前に編」 33
WMA	Microsoft社が開発した音声圧縮方式で、人間の聞き取りにくい部分のデータを間引くことによって高い圧縮率を得ることができ、音楽CD並みの音質を保ったまま約1/22(64kbps)まで圧縮することが可能。	「お使いになる前に編」 21
サンプリング周波数	アナログ信号からデジタル信号への変換を1秒間に何回行うかを示す数値。音楽CDの場合は44.1kHz。一般的にサンプリング周波数が高いほど高音質となる。	「お使いになる前に編」 21
チェックアウト	パソコンからNet MD対応機器を使ってMDへ音楽データを転送すること。	53
ビットレート	1秒間にどのくらいの情報量があるかを示す数値。ビットレートが高いほど高音質となる。	「お使いになる前に編」 21